

(様式第 10)

口大医総第 219 号
令和 3 年 10 月 1 日

厚生労働大臣

殿

開設者名 国立大学法人山口大学長
岡 正 良

山口大学医学部附属病院の業務に関する報告について

標記について、医療法（昭和 23 年法律第 205 号）第 12 条の 3 第 1 項及び医療法施行規則（昭和 23 年厚生省令第 50 号）第 9 条の 2 の 2 の第 1 項の規定に基づき、令和 2 年度の業務に関して報告します。

記

1 開設者の住所及び氏名

住 所	〒753-8511 山口県山口市吉田1677-1
氏 名	国立大学法人 山口大学

(注) 開設者が法人である場合は、「住所」欄には法人の主たる事務所の所在地を、「氏名」欄には法人の名称を記入すること。

2 名 称

山口大学医学部附属病院

3 所在の場所

〒755-8505 山口県宇部市南小串 1 - 1 - 1 電話 (0836) 22-2111

4 診療科名

4-1 標榜する診療科名の区分

①医療法施行規則第六条の四第一項の規定に基づき、有すべき診療科名すべてを標榜 ②医療法施行規則第六条の四第四項の規定により読み替えられた同条第一項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として、十以上の診療科名を標榜
--

(注) 上記のいずれかを選択し、番号に○印を付けること。

4-2 標榜している診療科名

(1) 内科

内科	有	無
内科と組み合わせた診療科名等		
①呼吸器内科	②消化器内科	③循環器内科
5神経内科	6血液内科	7内分泌内科
9感染症内科	⑩アレルギー疾患内科またはアレルギー科	⑪リウマチ科
診療実績		
神経内科については、脳神経内科にて提供している。		

(注) 1 「内科と組み合わせた診療科名等」欄については、標榜している診療科名の番号に○印を付けること。

2 「診療実績」欄については、「内科と組み合わせた診療科名等」欄において、標榜していない診療科がある場合、その診療科で提供される医療を、他の診療科で提供している旨を記載す

ること。

(2) 外科

外科	有	無
外科と組み合わせた診療科名		
①呼吸器外科	②消化器外科	3乳腺外科
5血管外科	⑥心臓血管外科	7内分泌外科
4心臓外科		
⑧小児外科		
診療実績		

(注) 1 「外科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名の番号に○印を付けること。

2 「診療実績」欄については、「外科」「呼吸器外科」「消化器外科」「乳腺外科」「心臓外科」「血管外科」「心臓血管外科」「内分泌外科」「小児外科」のうち、標榜していない科がある場合は、他の標榜科での当該医療の提供実績を記載すること（「心臓血管外科」を標榜している場合は、「心臓外科」「血管外科」の両方の診療を提供しているとして差し支えないこと）。

(3) その他の標榜していることが求められる診療科名

①精神科	②小児科	③整形外科	④脳神経外科	⑤皮膚科	⑥泌尿器科	⑦産婦人科
8産科	9婦人科	⑩眼科	⑪耳鼻咽喉科	⑫放射線科	13放射線診断科	
14放射線治療科	⑬麻酔科	⑭救急科				

(注) 標榜している診療科名の番号に○印を付けること。

(4) 歯科

歯科	有	無
歯科と組み合わせた診療科名		
1小児歯科 2矯正歯科 ③口腔外科		
歯科の診療体制		
本院は、歯科医師を有する特定機能病院である。		

(注) 1 「歯科」欄及び「歯科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名の番号に○印を付けること。

2 「歯科の診療体制」欄については、医療法施行規則第六条の四第五項の規定により、標榜している診療科名として「歯科」を含まない病院については記入すること。

(5) (1)～(4)以外でその他に標榜している診療科名

1心療内科	2臨床検査科	3病理診断科	4リハビリテーション科	5形成外科	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21

(注) 標榜している診療科名について記入すること。

5 病床数

精神	感染症	結核	療養	一般	合計
43床	床	床	床	713床	756床

6 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

職 種	常 勤	非常勤	合 計	職 種	員 数	職 種	員 数
医 師	218人	253人	387.06人	看 護 補 助 者	50人	診療エックス線技師	0人
歯 科 医 師	6人	14人	17.4人	理 学 療 法 士	17人	臨床検査技師	65人
薬 剤 師	53人	0人	53人	作 業 療 法 士	8人	衛生検査技師	0人
保 健 師	0人	0人	0人	視 能 訓 練 士	7人	そ の 他	0人
助 産 師	30人	0人	30人	義 肢 装 具 士	0人	あん摩マッサージ指圧師	0人
看 護 師	795人	21人	809.72人	臨 床 工 学 士	17人	医療社会事業従事者	8人
准 看 護 師	0人	0人	0人	栄 養 士	17人	その他の技術員	27人
歯科衛生士	1人	2人	2.54人	歯 科 技 工 士	1人	事 務 職 員	220人
管理栄養士	15人	0人	15人	診療放射線技師	44人	そ の 他 の 職 員	47人

(注) 1 報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること。

2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。

3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下2位を切り捨て、小数点以下1位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

7 専門の医師数

専門医名	人 数	専門医名	人 数
総合内科専門医	38人	眼 科 専 門 医	16人
外 科 専 門 医	39人	耳鼻咽喉科専門医	13人
精 神 科 専 門 医	10人	放射線科専門医	4人
小 児 科 専 門 医	23人	脳神経外科専門医	10人
皮 膚 科 専 門 医	5人	整形外科専門医	11人
泌尿器科専門医	12人	麻 酔 科 専 門 医	20人
産婦人科専門医	16人	救 急 科 専 門 医	9人
		合 計	226人

(注) 1 報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること。

2 人数には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下1位を切り捨て、整数で算出して記入すること。

8 管理者の医療に係る安全管理の業務の経験

管理者名 (杉野 法広) 任命年月日 平成 29 年 4 月 1 日

医療の質・安全管理委員会委員 (平成19年4月1日～現在)

9 前年度の平均の入院患者、外来患者及び調剤の数

歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科の前年度の平均の入院患者及び外来患者の数

	歯 科 等 以 外	歯 科 等	合 計
1 日当たり平均入院患者数	581.9人	12.8人	594.7人
1 日当たり平均外来患者数	1179.5人	69.3人	1248.8人
1 日 当 たり 平 均 調 剤 数	2,180剤		
必要医師数	132人		
必要歯科医師数	6人		
必要薬剤師数	28人		
必要（准）看護師数	340人		

(注) 1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療科を受診した患者数を記入すること。

2 入院患者数は、前年度の各科別の入院患者延数(毎日の 24 時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。

3 外来患者数は、前年度の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。

4 調剤数は、前年度の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。

5 必要医師数、必要歯科医師数、必要薬剤師数及び必要（准）看護師数については、医療法施行規則第二十二條の二の算定式に基づき算出すること。

10 施設の構造設備

施設の情報と設備						
施設名	床面積	主要構造	設備		概要	
集中治療室	419m ²	鉄筋鉄骨コンクリート	病床数	16床	心電計	有・無
			人工呼吸装置	有・無	心細動除去装置	有・無
			その他の救急蘇生装置	有・無	ペースメーカー	有・無
無菌病室等	[固定式の場合]	床面積	301m ²		病床数	23床
	[移動式の場合]	台数	11台			
医薬品情報管理室	[専用室の場合]	床積	35m ²			
	[共用室の場合]	共用する室名				
化学検査室	435m ²	鉄筋コンクリート	(主な設備) 生化学血液検分析装置及びライン			
細菌検査室	87m ²	鉄筋コンクリート	(主な設備) 安全キャビネット、オートクレーブ、細菌同定感受性装置			
病理検査室	373m ²	鉄筋鉄骨コンクリート	(主な設備) 卓上フード型局所排気装置、自動包埋装置、自動染色装置			
病理解剖室	477m ²	鉄筋コンクリート	(主な設備) 剖検台、写真撮影装置、煮沸滅菌器			
研究室	10,789m ²	鉄筋コンクリート	(主な設備) 光トポグラフィ装置、遺伝子発現解析システム			
講義室	2,439m ²	鉄筋コンクリート	室数	12室	収容定員	1,642人
図書室	1,979m ²	鉄筋コンクリート	室数	20室	蔵書数	15万8千冊程度

(注) 1 主要構造には、鉄筋コンクリート、簡易耐火、木造等の別を記入すること。

2 主な設備は、主たる医療機器、研究用機器、教育用機器を記入すること。

11 紹介率及び逆紹介率の前年度の平均値

紹介率	93.1%	逆紹介率	88.6%
算出根拠	A：紹介患者の数		10,089人
	B：他の病院又は診療所に紹介した患者の数		10,642人
	C：救急用自動車によって搬入された患者の数		1,096人
	D：初診の患者の数		12,013人

(注) 1 「紹介率」欄は、A、Cの和をDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。

2 「逆紹介率」欄は、BをDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。

3 A、B、C、Dは、それぞれの前年度の延数を記入すること。

12 監査委員会の委員名簿及び委員の選定理由（注）

氏名	所属	委員長 (○を付す)	選定理由	利害関係	委員の要件 該当状況
河村 康明	山口県医師会	○	医療に係る安全管理に関する専門的知識を有するため	有・無	1. 医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者
大田 明登	大田明登法律事務所		法律に関する識見を有するため	有・無	1. 医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者
玉田 英生	宇部興産株式会社		医療を受ける者の代表者	有・無	2. 医療を受ける者その他の医療従事者以外の者（1.に掲げる者を除く。）

(注) 「委員の要件該当状況」の欄は、次の1～3のいずれかを記載すること。

1. 医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者
2. 医療を受ける者その他の医療従事者以外の者（1.に掲げる者を除く。）
3. その他

13 監査委員会の委員名簿及び委員の選定理由の公表の状況

委員名簿の公表の有無	有・無
委員の選定理由の公表の有無	有・無
公表の方法 大学ウェブページに委員名簿及び選定理由を掲載	

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

1 承認を受けている先進医療の種類(注1)及び取扱患者数

先進医療の種類	取扱患者数
・ウイルスに起因する難治性の眼感染疾患に対する迅速診断(PCR法)	0人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人

(注) 1 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準(平成二十年厚生労働省告示第百二十九号)第二各号に掲げる先進医療について記入すること。

(注) 2 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

2 承認を受けている先進医療の種類(注1)及び取扱患者数

先進医療の種類	取扱患者数
・C型肝炎ウイルスに起因する肝硬変に対する自己骨髄細胞投与療法C型肝炎ウイルスに起因する肝硬変(Child-Pugh分類による点数が七点以上のものであって、従来の治療法(肝移植術を除く。)ではその治療に係る効果が認められないものに限る。)	0人
・水素ガス吸入療法 心停止後症候群(院外における心停止後に院外又は救急外来において自己心拍が再開し、かつ、心原性心停止が推定されるものに限る。)	2人
・マルチプレックス遺伝子パネル検査 進行再発固形がん(治療法が存在しないもの又は従来の治療法が終了しているもの若しくは従来の治療法が終了予定のものに限る。)	0人
・S-1内服投与並びにパクリタキセル静脈内及び腹腔内投与の併用療法 膵臓がん(遠隔転移しておらず、かつ、腹膜転移を伴うものに限る。)	0人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人

(注)1 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準(平成二十年厚生労働省告示第百二十九号)第三各号に掲げる先進医療について記入すること。

(注)2 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

3 その他の高度の医療

医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			

(注) 1 当該医療機関において高度の医療と判断するものが他にあれば、前年度の実績を記入すること。

(注) 2 医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として十以上の診療科名を標榜する病院については、他の医療機関での実施状況を含め、当該医療技術が極めて先駆的であることについて記入すること(当該医療が先進医療の場合についても記入すること)。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

4 指定難病についての診療

患者数	疾患名	患者数	疾患名	患者数
6	球脊髄性筋萎縮症	56	ベーチェット病	34
34	筋萎縮性側索硬化症	57	特発性拡張型心筋症	26
3	脊髄性筋萎縮症	58	肥大型心筋症	4
0	原発性側索硬化症	59	拘束型心筋症	1
10	進行性核上性麻痺	60	再生不良性貧血	8
147	パーキンソン病	61	自己免疫性溶血性貧血	1
5	大脳皮質基底核変性症	62	発作性夜間ヘモグロビン尿症	1
2	ハンチントン病	63	特発性血小板減少性紫斑病	15
0	神経有棘赤血球症	64	血栓性血小板減少性紫斑病	3
4	シャルコー・マリー・トゥース病	65	原発性免疫不全症候群	9
65	重症筋無力症	66	IgA 腎症	17
0	先天性筋無力症候群	67	多発性嚢胞腎	5
93	多発性硬化症／視神経脊髄炎	68	黄色靱帯骨化症	32
36	慢性炎症性脱髄性多発神経炎／多巣性運動ニューロパチー	69	後縦靱帯骨化症	98
3	封入体筋炎	70	広範脊柱管狭窄症	12
1	クロー・深瀬症候群	71	特発性大腿骨頭壊死症	34
5	多系統萎縮症	72	下垂体性ADH分泌異常症	3
25	脊髄小脳変性症(多系統萎縮症を除く。)	73	下垂体性TSH分泌亢進症	0
4	ライソゾーム病	74	下垂体性PRL分泌亢進症	3
0	副腎白質ジストロフィー	75	クッシング病	1
6	ミトコンドリア病	76	下垂体性ゴナドトロピン分泌亢進症	0
29	もやもや病	77	下垂体性成長ホルモン分泌亢進症	12
0	プリオン病	78	下垂体前葉機能低下症	47
0	亜急性硬化性全脳炎	79	家族性高コレステロール血症(ホモ接合体)	0
0	進行性多巣性白質脳症	80	甲状腺ホルモン不応症	0
1	HTLV-1関連脊髄症	81	先天性副腎皮質酵素欠損症	6
1	特発性基底核石灰化症	82	先天性副腎低形成症	0
11	全身性アミロイドーシス	83	アジソン病	0
1	ウルリッヒ病	84	サルコイドーシス	61
3	遠位型ミオパチー	85	特発性間質性肺炎	29
0	ベスレムミオパチー	86	肺動脈性肺高血圧症	11
0	自己食空腔性ミオパチー	87	肺静脈閉塞症／肺毛細血管腫症	0
0	シュワルツ・ヤンベル症候群	88	慢性血栓性肺高血圧症	3
13	神経線維腫症	89	リンパ管腫症	4
11	天疱瘡	90	網膜色素変性症	13
0	表皮水疱症	91	バッド・キアリ症候群	1
8	膿疱性乾癬(汎発型)	92	特発性門脈圧亢進症	0
3	スティーヴンス・ジョンソン症候群	93	原発性胆汁性肝硬変	43
0	中毒性表皮壊死症	94	原発性硬化性胆管炎	2
13	高安動脈炎	95	自己免疫性肝炎	14
3	巨細胞性動脈炎	96	クローン病	119
3	結節性多発動脈炎	97	潰瘍性大腸炎	152
22	顕微鏡的多発血管炎	98	好酸球性消化管疾患	1
21	多発血管炎性肉芽腫症	99	慢性特発性偽性腸閉塞症	0
11	好酸球性多発血管炎性肉芽腫症	100	巨大膀胱短小結腸腸管蠕動不全症	0
10	悪性関節リウマチ	101	腸管神経節細胞減少症	0
7	バージャー病	102	ルビンシュタイン・テイビ症候群	0
0	原発性抗リン脂質抗体症候群	103	CFC症候群	0
140	全身性エリテマトーデス	104	コステロ症候群	0
80	皮膚筋炎／多発性筋炎	105	チャージ症候群	0
68	全身性強皮症	106	クリオピリン関連周期熱症候群	1
13	混合性結合組織病	107	若年性特発性関節炎	1
24	シェーグレン症候群	108	TNF受容体関連周期性症候群	0
4	成人スチル病	109	非典型溶血性尿毒症症候群	0
0	再発性多発軟骨炎	110	ブラウ症候群	0

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

4 指定難病についての診療

疾患名		疾患名	
111 先天性ミオパチー	4	161 家族性良性慢性天疱瘡	0
112 マリネスコ・シェーグレン症候群	0	162 類天疱瘡(後天性表皮水疱症を含む。)	11
113 筋ジストロフィー	11	163 特発性後天性全身性無汗症	3
114 非ジストロフィー性ミオトニー症候群	0	164 眼皮膚白皮症	0
115 遺伝性周期性四肢麻痺	0	165 肥厚性皮膚骨膜炎	0
116 アトピー性脊髄炎	0	166 弾性線維性仮性黄色腫	0
117 脊髄空洞症	3	167 マルフアン症候群	3
118 脊髄髄膜瘤	0	168 エーラス・ダンロス症候群	1
119 アイザックス症候群	1	169 メンケス病	0
120 遺伝性ジストニア	0	170 オクシピタル・ホーン症候群	0
121 神経フェリチン症	0	171 ウィルソン病	1
122 脳表ヘモジデリン沈着症	0	172 低ホスファターゼ症	1
123 禿頭と変形性脊椎症を伴う常染色体劣性白質脳症	0	173 VATER症候群	1
124 皮質下梗塞と白質脳症を伴う常染色体優性脳動脈症	0	174 那須・ハコラ病	0
125 神経軸索スフェロイド形成を伴う遺伝性びまん性白質脳症	0	175 ウィーバー症候群	0
126 ベリー症候群	0	176 コフィン・ローリー症候群	0
127 前頭側頭葉変性症	0	177 ジュベール症候群関連疾患	0
128 ビッカースタッフ脳幹脳炎	0	178 モワット・ウィルソン症候群	0
129 痙攣重積型(二相性)急性脳症	0	179 ウィリアムズ症候群	0
130 先天性無痛無汗症	0	180 ATR-X症候群	0
131 アレキサンダー病	0	181 クルーゾン症候群	0
132 先天性核上性球麻痺	0	182 アペール症候群	0
133 メビウス症候群	0	183 ファイファー症候群	0
134 中隔視神経形成異常症/ドモルシア症候群	0	184 アントレー・ピクスラー症候群	0
135 アイカルディ症候群	0	185 コフィン・シリス症候群	0
136 片側巨脳症	0	186 ロスマンド・トムソン症候群	0
137 限局性皮膚異形成	0	187 歌舞伎症候群	0
138 神経細胞移動異常症	0	188 多脾症候群	0
139 先天性大脳白質形成不全症	0	189 無脾症候群	0
140 ドラベ症候群	0	190 鰓耳腎症候群	0
141 海馬硬化を伴う内側側頭葉てんかん	0	191 ウェルナー症候群	0
142 ミオクロニー欠神てんかん	0	192 コケイン症候群	0
143 ミオクロニー脱力発作を伴うてんかん	0	193 ブラダー・ウィリ症候群	0
144 レノックス・ガストー症候群	0	194 ソース症候群	0
145 ウエスト症候群	0	195 ヌーナン症候群	0
146 大田原症候群	0	196 ヤング・シンプソン症候群	0
147 早期ミオクロニー脳症	0	197 1p36欠失症候群	0
148 遊走性焦点発作を伴う乳児てんかん	0	198 4p欠失症候群	0
149 片側痙攣・片麻痺・てんかん症候群	0	199 5p欠失症候群	0
150 環状20番染色体症候群	0	200 第14番染色体父親性ダイソミー症候群	0
151 ラスムッセン脳炎	0	201 アンジェルマン症候群	0
152 PCDH19関連症候群	0	202 スミス・マギニス症候群	0
153 難治頻回部分発作重積型急性脳炎	0	203 22q11.2欠失症候群	0
154 徐波睡眠期持続性棘徐波を示すてんかん性脳症	0	204 エマヌエル症候群	0
155 ランドウ・クレフナー症候群	0	205 脆弱X症候群関連疾患	0
156 レット症候群	0	206 脆弱X症候群	0
157 スタージ・ウェーバー症候群	0	207 総動脈幹遺残症	0
158 結節性硬化症	1	208 修正大血管転位症	0
159 色素性乾皮症	1	209 完全大血管転位症	0
160 先天性魚鱗癬	0	210 単心室症	0

4 指定難病についての診療

疾患名		疾患名	
211 左心低形成症候群	0	259 レシチンコレステロールアシルトランスフェラーゼ欠損症	0
212 三尖弁閉鎖症	0	260 シトステロール血症	0
213 心室中隔欠損を伴わない肺動脈閉鎖症	0	261 タンジール病	0
214 心室中隔欠損を伴う肺動脈閉鎖症	0	262 原発性高カイロミクロン血症	0
215 ファロー四徴症	0	263 脳腫黄色腫症	0
216 両大血管右室起始症	1	264 無 β リボタンパク血症	0
217 エプスタイン病	0	265 脂肪萎縮症	1
218 アルポート症候群	0	266 家族性地中海熱	1
219 ギャロウェイ・モフト症候群	0	267 高IgD症候群	0
220 急速進行性糸球体腎炎	3	268 中條・西村症候群	0
221 抗糸球体基底膜腎炎	0	269 化膿性無菌性関節炎・壊疽性膿皮症・アクネ症候群	0
222 一次性ネフローゼ症候群	11	270 慢性再発性多発性骨髄炎	0
223 一次性膜性増殖性糸球体腎炎	1	271 強直性脊椎炎	5
224 紫斑病性腎炎	1	272 進行性骨化性線維異形成症	0
225 先天性腎性尿崩症	0	273 肋骨異常を伴う先天性側弯症	0
226 間質性膀胱炎(ハンナ型)	2	274 骨形成不全症	0
227 オスラー病	2	275 タナトフォリック骨異形成症	0
228 閉塞性細気管支炎	0	276 軟骨無形成症	0
229 肺胞蛋白症(自己免疫性又は先天性)	0	277 リンパ管腫症/ゴーム病	0
230 肺胞低換気症候群	1	278 巨大リンパ管奇形(頸部顔面病変)	0
231 α 1-アンチトリプシン欠乏症	0	279 巨大静脈奇形(頸部口腔咽頭びまん性病変)	0
232 カーニー複合	0	280 巨大動静脈奇形(頸部顔面又は四肢病変)	1
233 ウォルフラム症候群	0	281 クリッペル・トレノネー・ウェーバー症候群	0
234 ペルオキシソーム病(副腎白質ジストロフィーを除く。)	0	282 先天性赤血球形成異常性貧血	0
235 副甲状腺機能低下症	0	283 後天性赤芽球癆	3
236 偽性副甲状腺機能低下症	0	284 ダイヤモンド・ブラックファン貧血	0
237 副腎皮質刺激ホルモン不応症	0	285 ファンconi貧血	0
238 ビタミンD抵抗性くる病/骨軟化症	0	286 遺伝性鉄芽球性貧血	0
239 ビタミンD依存性くる病/骨軟化症	0	287 エプスタイン症候群	0
240 フェニルケトン尿症	0	288 自己免疫性出血病XIII	0
241 高チロシン血症1型	0	289 クロンカイト・カナダ症候群	1
242 高チロシン血症2型	0	290 非特異性多発性小腸潰瘍症	0
243 高チロシン血症3型	0	291 ヒルシュスプルング病(全結腸型又は小腸型)	0
244 メーブルシロップ尿症	0	292 総排泄腔外反症	0
245 プロピオン酸血症	0	293 総排泄腔遺残	0
246 メチルマロン酸血症	0	294 先天性横隔膜ヘルニア	0
247 イソ吉草酸血症	0	295 乳幼児肝巨大血管腫	0
248 グルコーストランスポーター1欠損症	0	296 胆道閉鎖症	1
249 グルタル酸血症1型	0	297 アラジール症候群	0
250 グルタル酸血症2型	0	298 遺伝性膝炎	0
251 尿素サイクル異常症	0	299 嚢胞性線維症	0
252 リジン尿性蛋白不耐症	0	300 IgG4関連疾患	8
253 先天性葉酸吸収不全	0	301 黄斑ジストロフィー	1
254 ポルフィリン症	0	302 レーベル遺伝性視神経症	0
255 複合カルボキシラーゼ欠損症	0	303 アッシャー症候群	1
256 筋型糖原病	0	304 若年発症型両側性感音難聴	0
257 肝型糖原病	0	305 遅発性内リンパ水腫	0
258 ガラクトース-1-リン酸ウリジルトランスフェラーゼ欠損症	0	306 好酸球性副鼻腔炎	58

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

4 指定難病についての診療

疾 患 名			疾 患 名		
307	カナバン病	0	321	非ケトーシス型高グリシン血症	0
308	進行性白質脳症	0	322	β -ケトチオラーゼ欠損症	0
309	進行性ミオクローヌステんかん	0	323	芳香族L-アミノ酸脱炭酸酵素欠損症	0
310	先天異常症候群	0	324	メチルグルタコン酸尿症	0
311	先天性三尖弁狭窄症	0	325	遺伝性自己炎症疾患	0
312	先天性僧帽弁狭窄症	0	326	大理石骨病	0
313	先天性肺静脈狭窄症	0	327	特発性血栓症(遺伝性血栓性素因によるものに限る。)	0
314	左肺動脈右肺動脈起始症	0	328	前眼部形成異常	0
315	ネイルパテラ症候群(爪膝蓋骨症候群)/L MX1B関連腎症	0	329	無虹彩症	0
316	カルニチン回路異常症	0	330	先天性気管狭窄症/先天性声門下狭窄症	0
317	三頭酵素欠損症	0	331	特発性多中心性キャスルマン病	1
318	シトリン欠損症	0	332	膠様滴状角膜ジストロフィー	1
319	セピアブテリン還元酵素(SR)欠損症	0	333	ハッチンソン・ギルフォード症候群	0
320	先天性グリコシルホスファチジルイノシトール(GPI)欠損症	0			

(注)「患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

高度の医療の提供の実績

5 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(基本診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・地域歯科診療支援病院歯科初診料	・データ提出加算
・歯科外来診療環境体制加算2	・入退院支援加算
・特定機能病院入院基本料	・入院時支援加算
・救急医療管理加算	・精神疾患診療体制加算
・超急性期脳卒中加算	・せん妄ハイリスク患者ケア加算
・診療録管理体制加算2	・精神科急性期医師配置加算
・医師事務作業補助体制加算1	・救命救急入院料4
・急性期看護補助体制加算	・特定集中治療室管理料2
・看護職員夜間配置加算	・脳卒中ケアユニット入院医療管理料
・看護補助加算	・総合周産期特定集中治療室管理料
・療養環境加算	・新生児治療回復室入院医療管理料
・重症者等療養環境特別加算	・小児入院医療管理料2
・無菌治療室管理加算1	・
・無菌治療室管理加算2	・
・緩和ケア診療加算	・
・精神科身体合併症管理加算	・
・精神科リエゾンチーム加算	・
・摂食障害入院医療管理加算	・
・医療安全対策加算1	・
・感染防止対策加算1	・
・患者サポート体制充実加算	・
・ハイリスク妊娠管理加算	・
・ハイリスク分娩管理加算	・
・後発医薬品使用体制加算2	・
・病棟薬剤業務実施加算1	・
・病棟薬剤業務実施加算2	・

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・歯科疾患管理料の注11に掲げる総合医療管理加算及び歯科治療時医療管理料	・遺伝学的検査
・ウイルス疾患指導料	・有床義歯咀嚼機能検査1の口及び咀嚼能力検査
・心臓ペースメーカー指導管理料の注5に掲げる遠隔モニタリング加算	・骨髓微小残存病変量測定
・がん性疼痛緩和指導管理料	・BRCA1/2遺伝子検査
・がん患者指導管理料イ	・がんゲノムプロファイリング検査
・がん患者指導管理料ロ	・角膜ジストロフィー遺伝子検査
・がん患者指導管理料二	・先天性代謝異常症検査
・外来緩和ケア管理料	・抗HLA抗体(スクリーニング検査)及び抗HLA抗体(抗体特異性同定検査)
・移植後患者指導管理料(臓器移植後)	・HPV核酸検出及びHPV核酸検出(簡易ジェノタイプ判定)
・移植後患者指導管理料(造血幹細胞移植後)	・ウイルス・細菌核酸多項目同時検出
・糖尿病透析予防指導管理料	・検体検査管理加算(IV)
・小児運動器疾患指導管理料	・国際標準検査管理加算
・乳腺炎重症化予防・ケア指導料	・遺伝カウンセリング加算
・婦人科特定疾患治療管理料	・遺伝性腫瘍カウンセリング加算
・腎代替療法指導管理料	・心臓カテーテル法による諸検査の血管内視鏡検査加算
・外来放射線照射診療料	・胎児心エコー法
・がん治療連携計画策定料	・時間内歩行試験及びシャトルウォーキングテスト
・肝炎インターフェロン治療計画料	・ヘッドアップティルト試験
・ハイリスク妊産婦連携指導料	・人工臓器検査、人工臓器療法
・薬剤管理指導料	・長期継続頭蓋内脳波検査
・検査・画像情報提供加算及び電子的診療情報評価料	・単線維筋電図
・医療機器安全管理料1	・光トポグラフィー
・医療機器安全管理料2	・神経学的検査
・医療機器安全管理料(歯科)	・補聴器適合検査
・在宅腫瘍治療電場療法指導管理料	・全視野精密網膜電図
・持続血糖測定器加算及び皮下連続式グルコース測定	

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・ロービジョン検査判断料	・抗精神病特定薬剤治療指導管理料(治療抵抗性統合失調症治療指導管理料に限る。)
・コンタクトレンズ検査料1	・医療保護入院等診療料
・小児食物アレルギー負荷検査	・医科点数表第2章第9部処置の通則の5に掲げる処置の休日加算1
・内服・点滴誘発試験	・医科点数表第2章第9部処置の通則の5に掲げる処置の時間外加算1
・CT透視下気管支鏡検査加算	・医科点数表第2章第9部処置の通則の5に掲げる処置の深夜加算1
・画像診断管理加算3	・硬膜外自家血注入
・CT撮影及びMRI撮影	・エタノールの局所注入(甲状腺)
・冠動脈CT撮影加算	・エタノールの局所注入(副甲状腺)
・血流予備量比コンピューター断層撮影	・人工腎臓
・外傷全身CT加算	・導入期加算2及び腎代替療法実績加算
・心臓MRI撮影加算	・透析液水質確保加算及び慢性維持透析濾過加算
・乳房MRI撮影加算	・磁気による膀胱等刺激法
・小児鎮静下MRI撮影加算	・CAD/CAM冠
・頭部MRI撮影加算	・有床義歯修理及び有床義歯内面適合法の歯科技工加算1及び2
・全身MRI撮影加算	・センチネルリンパ節加算
・抗悪性腫瘍剤処方管理加算	・四肢・軀幹軟部悪性腫瘍手術及び骨悪性腫瘍手術の注に掲げる処理骨再建加算
・外来化学療法加算1	・組織拡張器による再建手術(乳房(再建手術)の場合に限る。)
・無菌製剤処理料	・骨移植術(軟骨移植術を含む。)(自家培養軟骨移植術に限る。)
・心大血管疾患リハビリテーション料(Ⅰ)	・椎間板内酵素注入療法
・脳血管疾患等リハビリテーション料(Ⅰ)	・腫瘍脊椎骨全摘術
・運動器リハビリテーション料(Ⅰ)	・脳刺激装置植込術及び脳刺激装置交換術
・呼吸器リハビリテーション料(Ⅰ)	・脊髄刺激装置植込術及び脊髄刺激装置交換術
・がん患者リハビリテーション料	・仙骨神経刺激装置植込術及び仙骨神経刺激装置交換術(過活動膀胱)
・歯科口腔リハビリテーション料2	・角膜移植術(内皮移植加算)
・経頭蓋磁気刺激療法	・羊膜移植術
・精神科作業療法	・緑内障手術(緑内障治療用インプラント挿入術(プレートのあるもの))

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・緑内障手術(水晶体再建術併用眼内ドレーン挿入術)	・ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術(リードレスペースメーカー)
・網膜付着組織を含む硝子体切除術(眼内内視鏡を用いるもの)	・両心室ペースメーカー移植術及び両心室ペースメーカー交換術
・網膜再建術	・植込型除細動器移植術及び植込型除細動器交換術及び経静脈電極拔去術
・人工中耳植込術	・両室ペーシング機能付き植込型除細動器移植術及び両室ペーシング機能付き植込型除細動器交換術
・人工内耳植込術、植込型骨導補聴器移植術及び植込型骨導補聴器交換術	・大動脈バルーンポンピング法(IABP法)
・内視鏡下鼻・副鼻腔手術V型(拡大副鼻腔手術)	・補助人工心臓
・鏡視下咽頭悪性腫瘍手術(軟口蓋悪性腫瘍手術を含む。)	・腹腔鏡下胃切除術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・鏡視下喉頭悪性腫瘍手術	・バルーン閉塞下逆行性経静脈的塞栓術
・上顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る。)(歯科)、下顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る。)(歯科)	・胆管悪性腫瘍手術(膵頭十二指腸切除及び肝切除(葉以上)を伴うものに限る。)
・乳がんセンチネルリンパ節加算2及びセンチネルリンパ節生検(単独)	・腹腔鏡下肝切除術
・乳腺悪性腫瘍手術(乳輪温存乳房切除術(腋窩郭清を伴わないもの)及び乳輪温存乳房切除術(腋窩郭清を伴うもの))	・生体部分肝移植術
・ゲル充填人工乳房を用いた乳房再建術(乳房切除後)	・腹腔鏡下膵腫瘍摘出術
・胸腔鏡下拡大胸腺摘出術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	・腹腔鏡下膵体尾部腫瘍切除術
・胸腔鏡下縦隔悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	・早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術
・胸腔鏡下良性縦隔腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	・腹腔鏡下腎盂形成手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術(区域切除で内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	・腹腔鏡下腎悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)
・胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術(区域切除及び肺葉切除又は1肺葉を超えるもので内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	・同種死体腎移植術
・食道縫合術(穿孔、損傷)(内視鏡によるもの)、内視鏡下胃、十二指腸穿孔瘻孔閉鎖術、胃瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、等	・生体腎移植術
・胸腔鏡下食道悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	・膀胱水圧拡張術
・経皮的冠動脈形成術(特殊カテーテルによるもの)	・腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術
・胸腔鏡下弁形成術	・人工尿道括約筋植込・置換術
・経カテーテル大動脈弁置換術	・腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)
・胸腔鏡下弁置換術	・腹腔鏡下仙骨腫固定術
・不整脈手術左心耳閉鎖術(経カテーテル的手術によるもの)	・腹腔鏡下仙骨腫固定術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・経皮的中隔心筋焼灼術	・腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術(子宮体がんに限る。)
・ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術	・内視鏡的胎盤吻合血管レーザー焼灼術

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・胎児胸腔・羊水腔シャント術	・病理診断管理加算1
・胎児輸血術	・悪性腫瘍病理組織標本加算
・医科点数表第2章第10部手術の通則の12に掲げる手術の休日加算1	・口腔病理診断管理加算1
・医科点数表第2章第10部手術の通則の12に掲げる手術の時間外加算1	・クラウン・ブリッジ維持管理料
・医科点数表第2章第10部手術の通則の12に掲げる手術の深夜加算1	
・医科点数表第2章第10部手術の通則の16に掲げる手術	
・医科点数表第2章第10部手術の通則の19に掲げる手術(遺伝性乳癌卵巣癌症候群患者に対する乳房切除術に限る。)	
・医科点数表第2章第10部手術の通則の19に掲げる手術(遺伝性乳癌卵巣癌症候群患者に対する子宮附属器腫瘍摘出術に限る。)	
・輸血管理料 I	
・コーディネート体制充実加算	
・人工肛門・人工膀胱造設術前処置加算	
・胃瘻造設時嚥下機能評価加算	
・歯周組織再生誘導手術	
・広範囲顎骨支持型装置埋入手術	
・麻酔管理料 (I)	
・麻酔管理料 (II)	
・放射線治療専任加算	
・外来放射線治療加算	
・高エネルギー放射線治療	
・1回線量増加加算	
・強度変調放射線治療 (IMRT)	
・画像誘導放射線治療 (IGRT)	
・体外照射呼吸性移動対策加算	
・定位放射線治療	
・定位放射線治療呼吸性移動対策加算	
・画像誘導密封小線源治療加算	

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

7 診療報酬の算定方法に先進医療から採り入れられた医療技術

施設基準等の種類	施設基準等の種類
・骨髄微小残存病変量測定	・
・角膜ジストロフィー遺伝子検査	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・

(注) 1 特定機能病院の名称の承認申請の場合には、必ずしも記入しなくともよいこと。

(注) 2 「施設基準等の種類」欄には、特定機能病院の名称の承認申請又は業務報告を行う3年前の4月以降に、診療報酬の算定方法(平成二〇年厚生労働省告示第五九号)に先進医療(当該病院において提供していたものに限る。)から採り入れられた医療技術について記入すること。

8 病理・臨床検査部門の概要

臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況	① 臨床検査部門と病理診断部門は別々である。 2. 臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。
臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度	6 回
剖 検 の 状 況	剖検症例数 5 例 / 剖検率 3.0 %

(注) 「症例検討会の開催頻度」及び「剖検の状況」欄には、前年度の実績を記入すること。

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
がん認識抗体とCAR-T細胞による難治性B細胞性悪性リンパ腫を対象とした第I相医師主導臨床試験	玉田 耕治	免疫学講座	128,700,000	補 (委)	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
固形がんに対するIL-7/CCL19産生型CAR-T細胞療法の研究開発	玉田 耕治	免疫学講座	90,090,000	補 (委)	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
肝細胞癌に対する高感度DNAメチル化解析による簡便かつ低コストスクリーニング検査の研究開発	佐伯 一成	第一内科	4,598,000	補 (委)	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
ボジトロンCTで脳内炎症が確認された患者に対するミクログリア活性化抑制薬の有効性検証(抗疲労効果の判定における酸化ストレスからの検証)	野島 順三	基礎検査学講座	4,550,000	補 (委)	国立研究開発法人理化学研究所
眼科硝子体手術普及のための眼内内視鏡保持ロボット開発(危機回避システムの確立)	木村 和博	眼科学講座	4,000,000	補 (委)	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
成人T細胞白血病/リンパ腫の治療を目指したHTLV-1ウイルス標的樹状細胞ワクチン療法の確立: 薬事	下川 元継	基礎検査学講座	1,950,000	補 (委)	独立行政法人国立病院機構九州がんセンター
がん治療開発実施基盤の構築 細胞製造における問題とその解決	玉田 耕治	免疫学講座	1,000,000	補 (委)	国立研究開発法人国立がん研究センター
経皮感作対策による食物アレルギー発症予防研究	長谷川 俊史	小児科学講座	650,000	補 (委)	国立研究開発法人国立成育医療研究センター
研究支援者としてのプロジェクトマネージャー(調整管理実務担当者を含む)育成プログラムの開発に関する研究	丸本 芳雄	臨床研究センター	635,473	補 (委)	国立研究開発法人国立成育医療研究センター
遺伝子スクリーニング基盤(LC-SCRM-Japan)を利用した、MET遺伝子異常陽性の進行非小細胞肺癌に対する治療開発を目指した研究(生物統計に関するコンサルテーションの実施、医師主導治験の実施)	下川 元継	基礎検査学講座	532,285	補 (委)	国立研究開発法人国立がん研究センター
乳児期発症のアトピー性皮膚炎の予後を追跡しアレルギーマーチへの診療の影響と危険因子を探索する前向きコホート研究	長谷川 俊史	小児科学講座	390,000	補 (委)	国立研究開発法人国立成育医療研究センター
電子カルテ情報活用型多施設症例データベースを利用した糖尿病に関する臨床情報収集に関する研究(J-DREAMS)	谷澤 幸生	病態制御内科学講座	300,000	補 (委)	国立研究開発法人国立国際医療研究センター
フェノタイプ・エンドタイプに着目した本邦の喘息患者における3年間予後の検討	松山 豪泰	泌尿器科学講座	17,600	補 (委)	独立行政法人国立病院機構 東京病院
妊娠糖尿病における3ポイントスクリーニング法の有用性の検討	杉野 法広	産科婦人科学講座	2,600,000	補 (委)	浜田市
食品を介したダイオキシン類等の人体への影響の把握とその治療法の開発等に関する研究	下村 裕	皮膚科学講座	1,243,000	補 (委)	山口県
切除不能肝細胞癌に対するレンパチニブ使用による外科的切除可能性の検討(多施設共同臨床研究)LENS-HCC	永野 浩昭	消化器・腫瘍外科学講座	330,000	補 (委)	公益財団法人パブリックヘルスリサーチセンター
2型糖尿病患者を対象とした血管合併症抑制のための強化療法と従来治療とのランダム化比較試験介入終了後の追跡研究J-DOIT3(追跡)	谷澤 幸生	病態制御内科学講座	200,000	補 (委)	公益財団法人日本糖尿病財団
がんバイオマーカーの探索と新規がん診断法・治療法の開発に関する研究	永野 浩昭	消化器・腫瘍外科学講座	6,600,000	補 (委)	地方独立行政法人大阪府立病院機構大阪国際がんセンター

小計 18

個別化医療に有用な造器腫瘍系遺伝子検査システムの研究開発	永野 浩昭	消化器・腫瘍外科学講座	3,000,000	補 委	東洋鋼鈑株式会社
地域イノベーション・エコシステム形成プログラム 「革新的コア医療技術に基づく潜在的 アンメット・メディカル・ニーズ市場の開 拓および創造」	玉田 耕治	免疫学講座	82,523,000	補 委	文部科学省
地域イノベーション・エコシステム形成プログラム 「革新的コア医療技術に基づく潜在的 アンメット・メディカル・ニーズ市場の開 拓および創造」	鈴木 倫保	寄附講座(先進温度 神経生物学講座)	10,000,000	補 委	文部科学省
地域イノベーション・エコシステム形成プログラム 「革新的コア医療技術に基づく潜在的 アンメット・メディカル・ニーズ市場の開 拓および創造」	坂井田 功	消化器内科学講座	4,300,000	補 委	文部科学省
健康寿命の延伸を目指した次世代医 療橋渡し研究支援拠点	西川 潤	基礎検査学講座	1,500,000	補 委	国立大学法人岡山大学
卵巣癌の発生・進展に関与するlong non-coding RNA の同定と機能解析	杉野 法広	産科婦人科学講座	750,000	補 委	美祢市
うつ病患者における疾患バイオマ ーカーの確立	中川 伸	高次脳機能病態学講 座	375,000	補 委	美祢市
顎矯正手術における出血量の検討	三島 克章	歯科口腔外科学講座	375,000	補 委	美祢市
中枢神経/バリアー構成細胞の特性を利 用した難治性中枢神経疾患の新規治 療法開発	神田 隆	臨床神経学講座	10,530,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
前立腺癌オルガノイドと3D in vitroモデ ルによる至適薬剤選択法の開発	松山 豪泰	泌尿器科学講座	10,140,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
オルガノイド法を用いたミニ子宮内膜作 成と子宮内膜再生医療の展開	杉野 法広	産科婦人科学講座	8,450,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
悪性黒色腫に高度に集積するマルチ 温熱・放射線セラノスティックス・ナノ粒 子の開発	中村 教泰	器官解剖学講座	8,060,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
リアノジン受容体結合カルモジュリン制 御による心不全・心肥大・致死的不整 脈の治療	矢野 雅文	器官病態内科学講座	7,280,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
骨髄由来肝臓修復細胞による高効率 肝臓再生療法の先制的適応拡大研究 と機序解明	坂井田 功	消化器内科学講座	6,630,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
細胞ストレスからβ細胞不全、インス リン抵抗性へ:新たなメカニズムの探究	谷澤 幸生	病態制御内科学講座	6,370,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
大動脈瘤の退縮治療を促進する力学 刺激・免疫連関制御療法の創成	吉村 耕一	器官病態外科学講座	5,850,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
ストレス経験により記憶される海馬内経 験情報の可視化と符号化ルールの解 明	美津島 大	神経生理学講座	5,590,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
便潜血検査と便DNA検査併用による大 腸腫瘍スクリーニング精度の検証	末廣 寛	臨床検査・腫瘍学講 座	5,590,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
機能増強させた細胞由来のエクソソ ームを用いたcell-free血管再生療法の開 発	濱野 公一	器官病態外科学講座	5,590,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業

HSF1による新規転写調節機構を介したプロテオスタシス維持機構の解明	中井 彰	医化学講座	5,070,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
YAP-メカノホメオスタシスによる脳構築の場と発生時計連携メカニズムの解明	清木 誠	システムズ再生・病態 医化学講座	4,420,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
構音障害の病態解明を目指す数値流体力学解析を用いた構音シミュレーション法の開発	三島 克章	歯科口腔外科学講座	3,770,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
バイオマス光触媒反応における担持金ナノ粒子触媒のプラズモン共鳴と助触媒効果	望月 ちひろ	器官解剖学講座	3,510,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
特発性肺線維症に対する革新的な分子標的治療法の開発	角川 智之	寄附講座(呼吸器・健康長寿学講座)	3,456,166	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
血管新生を目指した虚血組織特異的に集積するエクソソームの探索	濱野 公一	器官病態外科学講座	3,380,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
歩行型分子モーターの変異体散逸計測と情報の視点を導入した数理モデル構築	有賀 隆行	ゲノム・機能分子解析 学講座	3,380,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
記憶形成におけるGABAA受容体β3・Ser408-409リン酸化の機能的意義	崎本 裕也	神経生理学講座	3,380,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
強靱な3次元臓器構築に不可欠なメカノホメオスタシスの基本原理の解明	浅岡 洋一	システムズ再生・病態 医化学講座	3,120,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
児童虐待の臨床法医学鑑定を見据えた小児の胸腺の非侵襲的検査法の確立	高瀬 泉	法医学講座	2,990,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
全ての患者に適応可能な代謝産物を標的とする革新的がん免疫療法の開発	柴田 健輔	ゲノム・機能分子解析 学講座	2,990,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
人工的な疑似細胞内非平衡環境における並進型発動分子のエネルギ論	有賀 隆行	ゲノム・機能分子解析 学講座	2,860,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
がん免疫成立の場の力学制御を可能にするリンパ節オルガノイドの創出	清木 誠	システムズ再生・病態 医化学講座	2,860,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
3次元培養を用いたYAP代謝プロファイルの研究	古元 礼子	システムズ再生・病態 医化学講座	2,860,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
傍脊椎神経ブロックによる側副血行増強に着目した新たな脊髄虚血保護戦略の検討	山下 敦生	麻酔科蘇生科	2,860,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
転写因子WT1による子宮内膜間質細胞の脱落膜化と脂質代謝制御機構の解明	竹谷 俊明	産科婦人科	2,860,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
四次元CTから肝線維症を捉える革新的な硬度マップ構築法の開発と放射線治療への応用	藤本 昂也	放射線部	2,600,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
広汎性脱分極(皮質拡張性抑制)が脳虚血に及ぼす影響についての研究	杉本 至健	脳神経外科	2,470,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
RPE細胞のEMTにおける新規ベンゾイルフェニルウレア化合物の作用機序の解明	小林 正明	眼科	2,470,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
アルンジン酸による抗うつ効果の検討とその作用機序解明	野崎 香菜子	神経解剖学講座	2,340,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業

高齢者のせん妄予防を目的とした快刺激映像の臨床応用	堤 雅恵	地域・老年看護学講座	2,340,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
慢性炎症性脱髄性多発根ニューロパチーを発症・増悪させる血液神経関門破綻機序の解明	尾本 雅俊	臨床神経学講座	2,210,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
膵β細胞脱分化におけるTxnipシグナル解明に基づく糖尿病治療の研究	田部 勝也	第三内科	2,210,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
CyTOPによる大腸腫瘍浸潤CD4+FOXP3+細胞の解析と予後因子としての役割	吉田 晋	消化器・腫瘍外科学講座	2,210,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
網膜下線維化における網膜色素上皮を起点とした補体系経路の新たな作用機構の解明	木村 和博	眼科学講座	2,210,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
肺癌におけるがん微小環境に関連した新規バイオマーカーと治療標的の探索	松井 洋人	第二外科	2,210,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
脊髄脊髄疾患の治療アシストシステムの開発	西田 周泰	整形外科	2,080,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
病態制御に向けたエンドサイトーシス・タイピングによるマクロファージ特異性の解明	中村 教泰	器官解剖学講座	2,080,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
マクロファージによる食食を回避するエクソソーム経静脈投与による血管新生療法の開発	溝口 高弘	第一外科	2,080,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
エピゲノム情報の統合解析による顆粒膜細胞の黄体化に伴う遺伝子発現制御機構の解明	白蓋 雄一郎	産科婦人科	2,080,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
網膜変性疾患における熱ショック転写因子1の病態解明と網膜神経保護薬の開発	波多野 誠	眼科	2,080,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
Clarification of protective functions of Huntingtin-associated protein 1 against autonomic and (文字制限)	イスラム エムディ ノビウル	神経解剖学講座	1,950,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
大動脈瘤ハイブリッド治療を目指したFAK阻害剤局所投与法の開発	原田 剛佑	第一外科	1,950,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
妊婦健診データのAI分析による妊娠高血圧症候群の発症予測システムの実用化	品川 征大	総合周産期母子医療センター	1,950,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
PAPR1活性制御によるRPの制御機構解明	芦森 温茂	眼科学講座	1,950,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
口腔細菌フノバクテリウム制御による大腸癌予防法の開発	河崎 啓介	歯科口腔外科	1,950,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
血管新生能を有するmicroRNAを改変した人工核酸による血管新生療法の開発	上野 耕司	第一外科	1,820,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
グルカゴン様ペプチド1作動薬を用いた内在性保護機構活性化による脊髄保護	松本 美志也	麻酔・蘇生学講座	1,820,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
抗heat shock protein抗体による血液脳関門破綻の病態解明と応用	前田 敏彦	医療人育成センター	1,820,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
うつ病の鑑別診断を目指した糖タンパク質バイオマーカーの新たな展開	山形 弘隆	精神科神経科	1,820,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業

鉄除去により強制的に変化させた代謝を標的とした新規抗癌併用療法の開発	藤澤 浩一	寄附講座(肝臓再生基盤学講座)	1,820,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
免疫細胞成分を含む癌ニッチ形成を応用した膀胱癌薬剤感受性プラットフォームの開発	松本 洋明	泌尿器科	1,820,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
子宮頸癌に対する有機シリカ・ナノ粒子キャリアを用いたCRB1遺伝子治療法の開発	末岡 幸太郎	総合周産期母子医療センター	1,820,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
股関節疾患におけるキネマティクス・キネティクスと患者満足度評価	坂井 孝司	整形外科学講座	1,820,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
肝細胞癌術前がん免疫療法症例の腫瘍浸潤リンパ球を用いた抑制性免疫の解明	新藤 芳太郎	消化器・腫瘍外科学講座	1,820,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
子宮頸癌における三酸化二砒素によるCBRI増加を介した新規分子標的治療の開発	梶邑 匠彌	産科婦人科	1,820,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
プリオン様タンパク質が引き起こす発癌機構の解明	北川 孝雄	システムズ再生・病態医化学講座	1,690,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
Wolfram症候群によってβ細胞死を引き起こすターゲットの同定と治療法の確立	田口 昭彦	病態制御内科学講座	1,690,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
熱性けいれんの機序解明による中枢神経の高温感受性の理解	野村 貞宏	脳神経外科学講座	1,690,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
川崎病治療反応性の予測因子および難治例への層別化治療法の確立	長谷川 俊史	小児科学講座	1,690,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
肝癌幹細胞特異的RAB3Bを標的とした術後肝内再発抑制のための新規治療法開発	恒富 亮一	第二外科	1,690,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
海馬による経験依存的な記憶形成機構	石川 淳子	神経生理学講座	1,690,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
形態/機能画像融合イメージングによるCOPDの同一空間的定量画像評価法の確立	浅見 麻紀	呼吸器・感染症内科	1,690,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
肝予備能不良進行肝細胞癌に対する鉄キレート剤と再生療法によるハイブリッド療法開発	高見 太郎	消化器内科学講座	1,690,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
遺伝子改変ゼブラフィッシュを用いた有毛細胞障害機構の解明	山下 裕司	耳鼻咽喉科学講座	1,690,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
地域密着型サービスを拠点とした認知症高齢者のエイジング・イン・プレイスの実現	永田 千鶴	地域・老年看護学講座	1,560,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
ホスホランポンを標的とした新たな環状ペプチド薬の創出と心不全治療薬への応用	本田 健	薬理学講座	1,560,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
皮膚筋炎における骨格筋微小血管障害の分子メカニズムの解明	佐野 泰照	脳神経内科	1,560,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
老化制御による新規骨髄増殖性腫瘍治療法の開発	湯尻 俊昭	病態検査学講座	1,560,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
胃癌における抗PD-1抗体の効果予測一末梢血と局所の免疫担当細胞の機能解析	吉野 茂文	腫瘍センター	1,560,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業

難治性皮膚潰瘍に対する他家細胞移植を見据えた積層細胞シート凍結保存法の開発	白澤 文吾	医学教育学講座	1,560,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
抗がん剤抵抗性非小細胞肺癌に対するRNA修飾酵素の役割解明	田中 俊樹	手術部	1,560,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
脳圧上昇によるGlymphatic pathway障害に関する研究	岡 史朗	脳神経外科	1,560,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
MSI関連因子を用いた泌尿器癌の抗PD-1抗体治療効果予測アルゴリズムの作成	山本 義明	泌尿器科	1,560,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
マルチ9軸センサと次世代VOGを用いた頭部・体幹・眼球同期記録と動的平衡機能評価	橋本 誠	耳鼻咽喉科	1,560,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
生活習慣病に合併する肝癌の早期診断マーカーの開発:血中細胞外小胞の解析	山口 奈津	公衆衛生学・予防医学講座	1,560,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
新生児脳症の病態に則した血清バイオマーカーに関する検討	高橋 一雅	総合周産期母子医療センター	1,560,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
小児リウマチ性疾患における免疫担当細胞の動態解析と難治性予測バイオマーカーの確立	脇口 宏之	小児科学講座	1,560,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
血中循環腫瘍細胞由来のオルガノイドを応用した転移性腺がんに対する新規免疫療法開発	田邊 剛	公衆衛生学・予防医学講座	1,560,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
次世代積層心筋幹細胞シート凍結保存法の開発	桂 春作	医学教育学講座	1,560,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
積層線維芽細胞シートを使用した術後気管支断端瘻の予防法の開発	村上 順一	第一外科	1,560,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
四肢虚血リモートプレコンディショニングと水素ガス投与併用による神経保護効果の検討	山下 理	手術部	1,560,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
漏出細胞内タンパク質の細胞外機能:組織損傷時の食食細胞への作用と炎症・抗炎症調節	泉 友則	消化器内科学講座	1,560,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
深在性かつ広範に跨る脳疾患部位を効果的に冷却できるハイブリッド脳冷却技術の開発	井上 貴雄	寄附講座(先進温度神経生物学講座)	1,560,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
毛髪ケラチンのトリプシン消化物質質量分析による毛髪鑑別法の開発	田中 経彦	基礎検査学講座	1,560,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
独自に誘導した臍造幹細胞の免疫逃避機構の解明	松隈 聡	第二外科	1,524,279	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
新規に同定した細胞接着斑分子paxillinが血管攣縮における役割の解明	張 影	分子細胞生理学講座	1,430,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
血液脳関門と血液神経関門の人為的改変を可能とする新規生物学的製剤の開発	清水 文崇	脳神経内科	1,430,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
胃癌に対する免疫チェックポイント分子阻害剤の適切かつ有効な応用	西川 潤	基礎検査学講座	1,430,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
リアンジン受容体を分子標的とした心不全・不整脈の新たな治療開発	小林 茂樹	器官病態内科学講座	1,430,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業

肺癌幹細胞および腫瘍微小環境をターゲットとする個別化診療への展開	永野 浩昭	消化器・腫瘍外科学講座	1,430,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
免疫チェックポイント阻害剤併用がんペプチド療法におけるバイオマーカーの探索	鈴木 伸明	消化器・腫瘍外科学講座	1,430,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
HSF1複合体によるエピジェネティックな遺伝子発現制御機構の解明	藤本 充章	医化学講座	1,430,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
成長因子と神経栄養因子の協調作用による創傷治癒促進機構の解明	酒井 大樹	薬理学講座	1,430,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
新しい翻訳後修飾「ヒスタミン化」の分子機構と機能的意義の解明	倉増 敦朗	薬理学講座	1,430,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
染色体分配関連因子による熱ショック遺伝子の転写誘導機構の解明	瀧井 良祐	医化学講座	1,430,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
悪性中皮腫に対する次世代型CAR-T細胞療法の開発	佐古田 幸美	免疫学講座	1,430,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
自己免疫性神経疾患における炎症細胞浸潤を誘導する血管内皮細胞膜抗原の網羅的同定	竹下 幸男	臨床神経学講座	1,430,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
心肺運動負荷検査指標に基づいた運動プログラムによるうつ病の個別化治療	中川 伸	高次脳機能病態学講座	1,430,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
エンテロウイルスD68感染による重症気管支喘息発作発症の解明および治療法の開発	安戸 裕貴	小児科学講座	1,430,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
Hippo-YAP経路による3次元腸管構築と感染・発がん・腸内細菌叢制御の解明	白井 睦訓	ゲノム・機能分子解析学講座	1,430,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
DBPシグナルを介した時計遺伝子ネットワークによるインスリン分泌制御機構の解明	太田 康晴	病態制御内科学講座	1,430,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
心筋幹細胞移植による心機能再生メカニズム解明とcell-free再生治療法の開発	鈴木 亮	器官病態外科学講座	1,430,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
TROY関連遺伝子は大腸癌の再発予測マーカーとして有用か？	西岡 光昭	検査部	1,430,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
意思決定のパラダイムを用いたNIRSによる抑うつ状態の鑑別診断法の開発	陳 冲	高次脳機能病態学講座	1,430,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
硬さによる神経前駆細胞の増殖制御メカニズムの解明	徳永 雅之	産科婦人科学講座	1,430,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
カルモジュリンキナーゼを標的とした炎症シグナル抑制による新規心不全治療法の開発	末富 建	第二内科	1,430,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
中間径フィラメントビメンチンを介した新規血管平滑筋異常収縮シグナル伝達機構の解明	岸 博子	分子細胞生理学講座	1,430,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
IVR治療と再生療法の融合による新規非代償性肝硬変治療の開発を目指した臨床研究	石川 剛	消化器内科学講座	1,430,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
抗線維化作用増強exosomeを用いた継続型低侵襲肝臓再生療法の開発	松本 俊彦	臨床検査・腫瘍学講座	1,430,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業

低リスク網膜再生を実現する内在性幹細胞活性化-CRMP群のリン酸化制御	徳田 和央	眼科学講座	1,430,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
術後肝内再発抑制法開発に向けた肝癌幹細胞特異的なHLA抗原ペプチドの同定	兼清 信介	消化器・腫瘍外科学講座	1,430,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
臓器の恒常性維持と再生におけるYAP活性化の機械的制御機構の解明	田尾 嘉誉	システムズ再生・病態医化学講座	1,430,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
時計遺伝子E4BP4によるマクロファージの炎症制御機構の解明	山本 薫	病態制御内科学講座	1,430,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
患者の意向に沿った家族の効力感をはぐくむ意思決定支援介入プログラムの開発	伊東 美佐江	母子看護学講座	1,300,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
生体分子モーターの内部で起きる非平衡散逸の定量的数値モデル解析	有賀 隆行	ゲノム・機能分子解析学講座	1,300,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
新生児・乳児消化管アレルギーの病態解明と診断法の確立	福田 謙	小児科	1,300,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
二種類の骨髄由来肝臓修復細胞による効率的な肝臓再生療法の開発	山本 直樹	保健管理センター	1,300,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
リアノジン受容体内ドメイン制御による新しい不整脈、心不全治療	山本 健	病態検査学講座	1,300,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
低炭水化物/高蛋白食で誘導される膵α細胞量増加と白色脂肪細胞褐色化の機序の解明	奥屋 茂	保健管理センター	1,300,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
cell-free再生医療の幹細胞エクソソームによる脊髄虚血再灌流障害軽減法開発	森景 則保	第一外科	1,300,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
MED12突然変異のない子宮筋腫のサブタイプの同定と特異的なマスター遺伝子の検出	佐藤 俊	産科婦人科学講座	1,300,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
ペットネコからヒトへの猫ひっかき病感染防御を目指したネコに対するワクチン開発	大津山 賢一郎	病態検査学講座	1,300,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
精神担当保健師のための「同僚と10分で困難事例対応能力を向上させる業務モデル」	守田 孝恵	地域・老年看護学講座	1,300,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
カテコラミン誘発性心室頻拍(CPVT)におけるリアノジン受容体異常の機序解明	内海 仁志	第二内科	1,300,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
カルモジュリン、GRK5の動態を標的とした心不全・動脈硬化に共通した治療法の探索	小田 哲郎	第二内科	1,300,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
遺伝子制御ネットワークと数値モデルで見出したマスター遺伝子による子宮内膜症の誘導	前川 亮	総合周産期母子医療センター	1,300,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
患者個別治療効果に基づく適応放射線治療に向けた新規コンビームCTシステムの開発	湯淺 勇紀	放射線部	1,300,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
高感度メチル化解析法による新たな肝癌診断スクリーニング検査の構築	山崎 隆弘	臨床検査・腫瘍学講座	1,300,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
カルモジュリンキナーゼを標的としたインフラマソーム制御による新しい心不全治療	末富 建	第二内科	1,300,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業

成体肺に潜在する再生能の再活性化に基づく肺再生療法の確立	清水 勇輝	基礎検査学講座	1,300,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
難治性口腔癌に対する鉄取り込み阻害またはフェロトーシス誘導による新規治療法の開発	原田 耕志	歯科口腔外科学講座	1,181,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
脳死下臓器提供における家族看護ケア指針の開発	山本 小奈実	臨床看護学講座	1,170,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
神経系血管バリアーの人為的調節に基づく難治性神経系疾患の新規治療法開発	池田 栄二	病理形態学講座	1,170,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
抗リン脂質抗体症候群の検査診断指針の作成と動脈血栓症発症機序の解明	野島 順三	基礎検査学講座	1,170,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
低酸素刺激を併用した心筋幹細胞シート移植による重症心不全治療法の開発	美甘 章仁	器官病態外科学講座	1,170,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
人工呼吸器患者の口腔ケア支援アプリケーションを用いた教育効果と口腔機能管理の向上	田戸 朝美	臨床看護学講座	1,170,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
抗リン脂質抗体症候群における抗リン脂質抗体と酸化ストレスの相乗的向血栓作用の解明	本木 由香里	基礎検査学講座	1,170,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
気管支喘息における末梢気道の機能障害を評価するイメージングバイオマーカーの確立	大石 景士	第二内科	1,170,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
アクチン重合のターンオーバーによる臓器・個体サイズ制御機構の解明	浅岡 洋一	システムズ再生・病態医化学講座	1,170,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
糖尿病の膵β細胞脱分化に対する治療標的の同定と予防法の開発	椎木 幾久子	寄附講座(分子代謝制御学講座)	1,170,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
新たな高感度リキッドバイオプシーによる進行肝癌治療マネージメントへの挑戦	佐伯 一成	第一内科	1,170,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
心原性脳塞栓予防につながる多領域複合的アプローチによる診断および治療法の構築	小室 拓也	病態検査学講座	1,170,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
炎症・死細胞因子と細胞外マトリクス連関を介した炎症性破骨細胞形成メカニズム	朝霧 成挙	薬理学講座	1,170,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
1歳6か月児健診カンファレンスシートを活用した地域の健康課題発見モデルの開発	斎藤 美矢子	地域・老年看護学講座	1,170,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
抗リン脂質抗体による血栓形成作用の解明	金重 里沙	基礎検査学講座	1,170,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
胃癌腹膜播種を亢進する独自の誘導胃癌幹細胞からの播種再発抑制標的の同定	西山 光郎	第二外科	1,170,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
自己免疫性神経疾患の多様性をもたらす細菌因子の同定	古賀 道明	脳神経内科	1,040,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
腫瘍微小環境中の細胞内シグナルを制御する次世代型キメラ抗原受容体T細胞の開発	安達 圭志	免疫学講座	1,040,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業

多面的アプローチによる外胚葉形成不全症の発症機構の解明	下村 裕	皮膚科学講座	1,040,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
1細胞解析法による乳癌内分泌療法抵抗性の解明-血中循環腫瘍細胞からのアプローチ	山本 滋	消化器・腫瘍外科学講座	1,040,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
子宮内膜脱落膜化における C/EBP β によるゲノムワイドヒストン制御機構の解明	田村 功	総合周産期母子医療センター	1,040,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
糖尿病に伴う難聴予防における終末糖化産物の役割	菅原 一真	耳鼻咽喉科学講座	1,040,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
運動トレーニングによる一次運動野V層細胞のシナプス強化メカニズム解明	木田 裕之	神経生理学講座	1,040,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
民生委員を対象にした精神障害者が生活し続けるための地域づくりプログラムの開発	磯村 聡子	地域・老年看護学講座	1,040,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
デュアルエネルギーCTを用いた羊水塞栓子描出の研究	岡田 宗正	放射線部	1,040,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
ゼブラフィッシュ側線器有毛細胞を用いた内耳におけるオートファジーの役割の解明	廣瀬 敬信	耳鼻咽喉科	1,040,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
周産期・小児期において家族が「核」となるための遺伝看護実践能力の探索	村上 京子	母子看護学講座	1,040,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
数値流体力学血流解析による早期ステント被覆と新生動脈硬化の機序解明と治療最適化	宮崎 要介	第二内科	1,040,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
急性心筋虚血における、ミトコンドリアのオートファジーの分子機構解明	齊藤 寿郎	第一外科	1,040,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
化膿性関節炎の早期診断を目的とした関節液中プレセプシンの解析	今釜 崇	整形外科	1,040,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
各種キナーゼの有毛細胞死への関わり	竹本 洋介	耳鼻咽喉科	1,040,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
人工知能による遺伝子発現プロファイル解析に基づいた子宮内膜症の新規治療標的の探索	杉野 法広	産科婦人科学講座	1,040,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
認知機能障害と情動調整障害を同時に回復するうつ病のニューロフィードバック法の開発	松原 敏郎	高次脳機能病態学講座	1,040,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
線維性腸管狭窄に対するメカニズムの解明と臨床応用への検討	橋本 真一	第一内科	1,040,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
アドバンスケアプランニングと同時に開始する患者の生活関係清算への支援に関する研究	田中 愛子	基礎看護学講座	1,040,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
医療的ケア児の経腸栄養製品の長期使用における免疫機能と腸内有機酸への影響	星出 まどか	小児科学講座	1,040,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
肥大型心筋症におけるリアノジン受容体安定化による新しい分子標的療法の開発	奥田 真一	第二内科	910,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
血液網膜バリアに着目したVEGFを標的としない加齢黄斑変性の治療法の開発	柳井 亮二	眼科	910,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業

小計 20

小児プロテインC欠乏症の発症時期に関する包括的リスク評価	井上 裕文	小児科	910,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
「認知症高齢者の在宅復帰パス」の開発	清永 麻子	地域・老年看護学講座	910,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
うつ病バイオマーカーとしての長鎖非コードRNAへトランスクリプショナルな視点から～	關 友恵	精神科神経科	910,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
肺癌の定位放射線治療における個別化ゲノム医療の探求	田中 秀和	放射線腫瘍学講座	910,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
認知症発症に関連する因子の検討ー特に栄養状態と体組成の観点からー	野垣 宏	地域・老年看護学講座	910,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
水域生態系における薬剤耐性菌の伝播と感染メカニズムの解明への挑戦	小林 由紀	基礎検査学講座	871,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
脳血管攣縮の治療標的分子の同定	森田 知佳	分子細胞生理学講座	780,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
視交叉上核による室傍核領域の概日振動制御機構の解明	升本 宏平	神経解剖学講座	780,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
深層学習を用いた肺腫瘍判別によるマーカーレス四次元動体追跡放射線治療の確立	椎木 健裕	放射線治療部	780,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
膵がん幹細胞特異抗原に対するマルチHLA結合性ペプチドの同定と新規免疫療法の開発	碓 彰一	共同研究講座(先端がん治療開発学講座)	780,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
一酸化炭素中毒の病態解明と水素ガス吸入による新規治療法の確立	藤田 基	救急・総合診療医学講座	780,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
飲酒後の吸収相における呼気中アルコール動態モデルの検討	姫宮 彩子	法医学講座	780,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
食欲不振を引き起こすメカニズムの解明	柳井 章江	基礎検査学講座	780,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
膠芽腫における腫瘍関連マクロファージによる受容体型チロシンキナーゼ活性化の究明	貞廣 浩和	手術部	780,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
単一細胞遺伝子解析によるヒト造精機能障害の分子機構の解明	白石 晃司	泌尿器科学講座	780,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
肝線維化抑制を目指した血管内皮機能評価による治療効果予測への試み	末永 弘美	病態検査学講座	780,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
根治不能口腔癌との共生を目指した新規治療法の開発	竹縄 隆徳	歯科口腔外科	780,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
周産期のメンタルヘルス調査とパートナーへの介入方法に関する研究	樋口 尚子	精神科神経科	780,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
クリティカルケアにおける臨床倫理分析・調整システムツールの開発	山勢 博彰	臨床看護学講座	650,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
乳癌検診への非造影MRI導入:高分解能拡散強調画像による診断能向上を目指して	古川 又一	放射線医学講座	650,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業

重症患者の回復期のせん妄・睡眠障害・対光反射と短期ADLとの関連	鶴田 良介	救急・総合診療医学講座	650,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
ネグレクトのハイリスク家族支援における「保健師が介入するタイミング」に関する研究	木嶋 彩乃	地域・老年看護学講座	650,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
ダウン症児における早期乳児期からの積極的運動リハビリテーション	岡田 清吾	総合周産期母子医療センター	650,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
腎癌発症転移に関する長鎖non-coding RNAの同定	平田 寛	泌尿器科	520,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
児童生徒の食塩摂取量を減らすための地域介入方法の開発	奥田 昌之	機械工学分野	520,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
稀少な染色体異常症のある児と家族に向けた支援ネットワークの構築	沓脱 小枝子	母子看護学講座	520,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
臨床看護師とAI技術協同による看護サービス向上への挑戦	神徳 和子	基礎看護学講座	520,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
精神科看護師の自己効力感向上を図るツールの開発と評価	矢田 浩紀	臨床看護学講座	520,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
新人看護師が認識するチームの心理的安全性が看護実践能力に与える影響	浅海 菜月	基礎看護学講座	520,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
飲酒と主要栄養素変更の併存が動脈硬化症の進展と心臓性突然死発症に及ぼす影響の解明	劉 金耀	法医学講座	390,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
マムシ咬傷治療法確立のための多施設前向き観察研究	金田 浩太郎	先進救急医療センター	390,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
診療参加型実習における学生診療録ピア・レビュー教育の有効性に関する研究	久永 拓郎	医学教育学講座	390,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
ディープラーニングによる胃癌の深達度診断	五嶋 敦史	消化器内科学講座	390,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
ハイリスク症例に対する新しい脊椎脊髄手術モニタリングの開発	船場 真裕	整形外科科学講座	390,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
妊娠先行型結婚をした夫婦へのケアプログラムの構築	河本 恵理	母子看護学講座	260,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
糖尿病モデルマウスにおけるプロテインキナーゼC活性と聴覚についての研究	津田 潤子	耳鼻咽喉科学講座	130,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
萩市大学連携地域づくり推進事業	守田 孝恵	地域・老年看護学講座	150,000	補委	萩市
生きた細胞内部での1分子力学操作技術の開発	有賀 隆行	ゲノム・機能分子解析学講座	5,000,000	補委	中谷医工計測技術振興財団
肝癌に対する周術期免疫療法と湿潤リンパ球の免疫応答	永野 浩昭	消化器・腫瘍外科学講座	5,000,000	補委	上原記念生命科学財団
染色体分配関連因子による熱ショック応答の制御	瀧井 良祐	医化学講座	3,000,000	補委	武田科学振興財団

血液脳関門 血液神経関門を操作する新規モノクローナル抗体の作製	清水 文崇	脳神経内科	3,000,000	補委	武田科学振興財団
マクロファージ内カルモジュリンキナーゼを標的とした炎症抑制による新規心不全治療法の開発	末富 建	第二内科	2,000,000	補委	武田科学振興財団
ヒトにおける糖代謝の概日リズムと時計遺伝子との関連性の検討	太田 康晴	病態制御内科学講座	1,700,000	補委	鈴木万平糖尿病財団
インフラマソームシグナル拡散を標的とした新たな心不全治療法の探索	末富 建	第二内科	1,200,000	補委	公益財団法人 宇部興産学術振興財団
胃液中バイオマーカーを用いた早産児慢性肺疾患の重症化予測および予防法の確立	岡田 清吾	総合周産期母子医療センター	1,000,000	補委	母子健康協会
カルシウム恒常性を標的とした小胞体ストレス関連疾患に対する新規治療の開発	末富 建	第二内科	1,000,000	補委	MSD生命科学財団
リアノジン受容体を標的とした新しい心不全・不整脈治療の開発	小林 茂樹	器官病態内科学講座	1,000,000	補委	先進医薬研究振興財団
情動情報処理評価バッテリーがうつ病の治療バイオマーカーとしての有用性の検討	陳 冲	高次脳機能病態学講座	1,000,000	補委	先進医薬研究振興財団
がんゲノム医療に向けた小児がんのトランスポゾン挿入変異を含む全ゲノム変異解析	早野 崇英	システムバイオインフォマティクス講座	1,000,000	補委	公益財団法人 宇部興産学術振興財団
ハイリスク症例に対する新しい脊椎脊髄手術の脊髄モニタリングの開発	船場 真裕	整形外科学講座	1,000,000	補委	公益財団法人 YMFG地域企業助成基金
West症候群における髄液神経ステロイドの動態とACTH療法の治療予測因子の解明	井上 裕文	小児科	600,000	補委	森永奉仕会

小計 11

合計 247

(注) 1

国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。

2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。

3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(1)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院における所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
1	Kobayashi S., Yoshiga Y., Yano M.	第二内科	Author's reply: The RyR2 – Targeting therapy against lethal arrhythmia	Journal of Cardiology・2020	Letter
2	Kobayashi S., Wakeyama T., Ono S., et al.	第二内科	A multicenter, randomized, double-blind, controlled study to evaluate the efficacy and safety of dantrolene on ventricular arrhythmia as well as mortality and morbidity in patients with chronic heart failure (SHO-IN trial): rationale and design	Journal of Cardiology・2020	Original Article
3	Ishikawa T., Hamamoto K., Sasaki R., et al.	第一内科	Significant improvement in portal-systemic liver failure symptoms and successful management of portal-splenic venous hemodynamics by the combination of interventional radiology and pharmacotherapy	Hepatology Research・2020	Original Article
4	Sakaida I., Terai S., Kurosaki M., et al.	第一内科	Real-world effectiveness and safety of tolvaptan in liver cirrhosis patients with hepatic edema: results from a post-marketing surveillance study (START study)	Journal of Gastroenterology・2020	Original Article

5	Fujisawa K., Takami T., Sasai N., et al.	第一内科	Metabolic alterations in spheroid-cultured hepatic stellate cells	International Journal of Molecular Sciences • 2020	Original Article
6	Goto A., Nishikawa J., Nagao M., et al.	第一内科	Solitary peutz- jaghers-type polyp of the stomach	Internal Medicine • 2020	Original Article
7	Fujisawa K., Takami T., Shintani H., et al.	第一内科	Seasonal variations in photoperiod affect hepatic metabolism of medaka (<i>Oryzias latipes</i>)	FEBS Open Bio • 2021	Original Article
8	Ishikawa T., Sasaki R., Nishimura T., et al.	第一内科	Splenic non- infarction volume determines a clinically significant hepatic venous pressure gradient response to partial splenic embolization in patients with cirrhosis and hypersplenism	Journal of Gastroenterology • 2021	Original Article
9	Hidaka I., Enomoto M., Sato S., et al.	第一内科	Establishing efficient systems through electronic medical records to promote intra- hospital referrals of hepatitis virus carriers to hepatology specialists: A multicenter questionnaire- based survey of 1,281 healthcare professionals	Internal Medicine • 2021	Original Article
10	Matsuda T., Md, Ishikawa T., Oono T., et al.	第一内科	Rendezvous therapy with endoscopic and endovascular treatments for rectal arteriovenous malformation: A case report	Endoscopy • 2021	Short Survey

11	Hisanaga T., Hidaka I., et al.	第一内科	Analysis of the safety of pretransplant corticosteroid therapy in patients with acute liver failure and late- onset hepatic failure in Japan	JGH Open • 2021	Original Article
12	Goto A, Nishikawa J, Sakaida I.	第一内科	Primary Gastric Follicular Lymphoma Presenting as a Submucosal Tumor.	ACG Case Rep J. • 2020	Original Article
13	Hidaka I, Enomoto M, Sato S, et al.	第一内科	Establishing Efficient Systems through Electronic Medical Records to Promote Intra- hospital Referrals of Hepatitis Virus Carriers to Hepatology Specialists: A Multicenter Questionnaire- based Survey of 1,281 Healthcare Professionals.	Intern Med. • 2021	Original Article
14	Ishikawa T, Sasaki R, Nishimura T, et al.	第一内科	Short-term Effects of Hepatic Arterial Buffer Responses Induced by Partial Splenic Embolization on the Hepatic Function of Patients with Cirrhosis According to the Child-Pugh Classification.	Intern Med. • 2021	Original Article
15	Matsuda T, Ishikawa T, Sasaki R, et al.	第一内科	Therapeutic Algorithm for Duodenal Varices: A Case Series	World J Gastroenterol Hepatol Endosc. • 2020	Original Article

16	Fujimura T., Okamura T., Furuya K., et al.	第二内科	Comparison of diagnostic performance in assessing the rewiring position into a jailed side branch between online 3D reconstruction systems version 1.1 and 1.2 derived from optical frequency domain imaging	Cardiovascular Intervention and Therapeutics • 2020	Original Article
17	Tanabe K., Nishimura S., Sugahara K., et al.	第三内科	A patient with sudden hearing loss induced by propylthiouracil	Heliyon • 2021	Original Article
18	Nakamura Y., Takenaka K., Yamazaki H., et al.	第三内科	Outcome of allogeneic hematopoietic stem cell transplantation in adult patients with paroxysmal nocturnal hemoglobinuria	International Journal of Hematology • 2021	Original Article
19	Amo-Shiinoki K., Tanabe K., Hoshii Y., et al.	第三内科	Islet cell dedifferentiation is a pathologic mechanism of long-standing progression of type 2 diabetes	JCI Insight • 2021	Original Article
20	Maeda T., Kawai M., Ishiguchi E., et al.	脳神経内科	Chronic inflammatory demyelinating polyradiculoneuropathy with myelopathy due to massively enlarged nerve roots	Clinical Neurology • 2020	Original Article
21	Takeshita Y., Sato R., Kanda T.	脳神経内科	Blood-nerve barrier (BNB) pathology in diabetic peripheral neuropathy and in vitro human BNB model	International Journal of Molecular Sciences • 2021	Original Article

22	Matsunaga K., Adachi M., Nagase H., et al.	呼吸器・感染症内科	Association of low-dosage systemic corticosteroid use with disease burden in asthma	npj Primary Care Respiratory Medicine・2020.8	Original Article
23	Matsunaga K., Katoh N., Fujieda S., et al.	呼吸器・感染症内科	Dupilumab: Basic aspects and applications to allergic diseases	Allergology International・2020.4	Review
24	Matsunaga K., Kuwahara I., Hanaoka M., et al.	呼吸器・感染症内科	An official JRS statement: The principles of fractional exhaled nitric oxide (FeNO) measurement and interpretation of the results in clinical practice	Respiratory Investigation・2021.1	Review
25	Hirano T, Doi K, Matsunaga K, et al.	呼吸器・感染症内科	A Novel Role of Growth Differentiation Factor (GDF)-15 in Overlap with Sedentary Lifestyle and Cognitive Risk in COPD	Journal of Clinical Medicine・2020.8	Original Article
26	Matsunaga K, Harada M, Suizu J, et al.	呼吸器・感染症内科	Comorbid Conditions in Chronic Obstructive Pulmonary Disease: Potential Therapeutic Targets for Unmet Needs	Journal of Clinical Medicine・2020.9	Review
27	Yamagata H., Ogiwara H., Matsuo K., et al.	精神科神経科	Distinct epigenetic signatures between adult-onset and late-onset depression	Scientific Reports・2021	Original Article

28	Matsubara T., Yamamoto N., Chen C., et al.	精神科神経科	A 26-year retrospective survey on suicide cases of students at Yamaguchi University (1992–2017): Risk factors and the role of the health administration center: Survey on university student suicides	Psychiatry Research • 2021	Original Article
29	Hirotsuka Yamagata, Shin Nakagawa	精神科神経科	Glycosylation and Depression—A Review	Trends in Glycoscience and Glycotechnology • 2020	Review
30	Okada S., Fukunaga S., Ohta H., et al.	小児科	Cerebral Insufficiency Caused by Diazoxide in a Premature Neonate with Congenital Hyperinsulinism	Neuropediatrics • 2020	Original Article
31	Okada S., Hasegawa S.	小児科	Visible intestinal peristalsis in a neonate	New England Journal of Medicine • 2021	Case report
32	Okada S., Ohnishi Y., Furuta T., et al.	小児科	Multiple heart beats: A unique presentation of cardiac rhabdomyoma	Cardiology Journal • 2021	Original Article
33	Hoshida M., Yasudo H., Inoue H., et al.	小児科	Efficacy of hypothermia therapy in patients with acute encephalopathy with biphasic seizures and late reduced diffusion	Brain and Development • 2020	Original Article

34	Kimura S, Toyoshima K, Shimokaze T, et al.	小児科	Using airway resistance measurement to determine when to switch ventilator modes in congenital diaphragmatic hernia: a case report.	BMC Pediatrics • 2020	Case report
----	--	-----	---	-----------------------	-------------

35	Saito T., Kurazumi H., Suzuki R., et al.	第一外科	Preserving the endothelium in saphenous vein graft with both conventional and no-touch preparation	Journal of Cardiothoracic Surgery • 2020	Original Article
36	Suehiro K., Morikage N., Harada T., et al.	第一外科	Extracellular Fluid Content in the Legs of Patients with Chronic Venous Disease	Annals of Vascular Surgery • 2021	Original Article
37	Suzuki R., Mikamo A., Tsubone S., et al.	第一外科	Preoperative evaluation of aortic calcification by computed tomography in thoracic aortic disease	Journal of Cardiac Surgery • 2021	Original Article
38	Kotaro Suehiro, Noriyasu Morikage, Takasuke Harada, et al.	第一外科	Interface Pressures Derived from a Tubular Elastic Bandage	Annals of Vascular Diseases • 2020	Original Article
39	Matsukuma S., Eguchi H., Wada H., et al.	第二外科	Liver resection with thrombectomy for patients with hepatocellular carcinoma and tumour thrombus in the inferior vena cava or right atrium	BJS open • 2020 Apr	Original Article
40	Tokumitsu Y, Shindo Y, Matsui H, et al.	第二外科	Laparoscopic total biopsy for suspected gallbladder cancer : A case series	Health Sci Rep. • 2020 Apr	Original Original Article
41	Nakajima M., Kobayashi S., Wada H., et al.	第二外科	Viral elimination is essential for improving surgical outcomes of hepatitis C virus- related hepatocellular carcinoma: Multicenter retrospective analysis	Annals of Gastroenterological Surgery • 2020 Jul	Original Article

42	Nakajima M., Hazama S., Tamada K., et al.	第二外科	A phase I study of multi-HLA-binding peptides derived from heat shock protein 70/glypican-3 and a novel combination adjuvant of hLAG-3Ig and Poly-ICLC for patients with metastatic gastrointestinal cancers: YNP01 trial	Cancer Immunology, Immunotherapy • 2020 Aug	Original Article
43	Takeda S., Iida M., Kanekiyo S., et al.	第二外科	Efficacy of intraoperative recurrent laryngeal neuromonitoring during surgery for esophageal cancer	Annals of Gastroenterological Surgery • 2020 Sep	Original Article
44	Tsunedomi R., Yoshimura K., Suzuki N., et al.	第二外科	Clinical implications of cancer stem cells in digestive cancers: acquisition of stemness and prognostic impact	Surgery Today • 2020 Dec	Review
45	Matsukuma S, Nagano H, Kobayashi S, et al.	第二外科	The impact of peritoneal lavage cytology in biliary tract cancer (KHBO1701) : Kansai Hepato-Biliary Oncology Group	Cancer Rep (Hoboken). • 2020 Dec	Case report
46	Shindo Y, Kobayashi S, Wada H, et al.	第二外科	Short- and Long-Term Outcomes of Simultaneous Hepatic Artery Resection and Reconstruction for Perihilar Cholangiocarcinoma	Gastrointest Tumors. • 2021 Jan	Original Original Article

47	Matsukuma S., Tokumitsu Y., Nakagami Y., et al.	第二外科	Laparoscopic resection reduces superficial surgical site infection in liver surgery	Surgical Endoscopy • 2021 Jan	Original Article
48	Ioka T., Furuse J., Fukutomi A., et al.	第二外科	Randomized phase II study of chemoradiotherapy with versus without induction chemotherapy for locally advanced pancreatic cancer: Japan Clinical Oncology Group trial, JCOG1106	Japanese journal of clinical oncology • 2021 Feb	Original Article
49	Seki K., Seki T., Ogasa H., et al.	整形外科	Investigation of the effect of intraoperative mediolateral stability on postoperative sagittal stability after bi-cruciate stabilized total knee arthroplasty	Journal of Orthopaedics • 2020.10	Original Article
50	Seki K., Ogasa H., Tokushige A., et al.	整形外科	Ultrasonography-detected synovitis of hand is associated with the presence of synovitis in the forefoot of patients with rheumatoid arthritis	Journal of Orthopaedic Science • 2020.10	Original Article
51	Imagama T., Seki K., Seki T., et al.	整形外科	Synovial fluid presepsin as a novel biomarker for the rapid differential diagnosis of native joint septic arthritis from crystal arthritis	International Journal of Infectious Diseases • 2021.1	Original Article

52	Imajo Y., Kanchiku T., Suzuki H., et al.	整形外科	Factors associated with an excellent outcome after conservative treatment for patients with proximal cervical spondylotic amyotrophy using electrophysiological, neurological and radiological findings	Journal of Spinal Cord Medicine • 2020.11	Original Article
53	Nishida N., Jiang F., Ohgi J., et al.	整形外科	Compression analysis of the gray and white matter of the spinal cord	Neural Regeneration Research • 2020.7	Original Article
54	Nishida N., Izumiya T., Asahi R., et al.	整形外科	Changes in the global spine alignment in the sitting position in an automobile	Spine Journal • 2020.4	Original Article
55	Funaba M., Imajo Y., Suzuki H., et al.	整形外科	The radiological characteristics associated with the development of myelopathy due to ossification of the posterior longitudinal ligaments at each responsible level based on spinal cord evoked potentials	Clinical Neurology and Neurosurgery • 2020.7	Original Article
56	Nishida N., Imajo Y., Suzuki H., et al.	整形外科	Biomechanics of the Spinal Cord Compression Due to Cervical Ossification of the Posterior Longitudinal Ligament	OPLL • 2020.5	Original Article

57	Takasu H., Kuramoto Y., Yokoyama S., et al.	皮膚科	Two-way Revascularization to Manage Celiac Artery Stenosis during Pancreaticoduoden ectomy: A Case Report	Plastic and Reconstructive Surgery - Global Open - 2021/2/1	Original Article
58	Yamamoto Y., Yatsuda J., Shimokawa M., et al.	泌尿器科	Prognostic value of pre-treatment risk stratification and post-treatment neutrophil/lymphoc yte ratio change for pembrolizumab in patients with advanced urothelial carcinoma	International Journal of Clinical Oncology • 2021	Original Article
59	Yamamoto Y, Otori T, Inoue R, et al.	泌尿器科	Pharmacokinetics of Neoadjuvant Axitinib Influenced the Efficacy in Patients With Advanced Renal Cell Carcinoma.	J Clin Pharmacol. • 2020	Original Article
60	Yamamoto Y, Matsuyama H, Matsumoto H, et al.	泌尿器科	Prognostic value of risk stratification using blood parameters for nivolumab in Japanese patients with metastatic renal-cell carcinoma.	Jpn J Clin Oncol. • 2020	Original Article
61	Matsuyama H., Matsubara N., Kazama H., et al.	泌尿器科	Real-world efficacy and safety of two doses of cabazitaxel (20 or 25 mg/m2) in patients with castration- resistant prostate cancer: Results of a Japanese post- marketing surveillance study	BMC Cancer • 2020	Original Article

62	Matsumoto H., Shiraishi K., Azuma H., et al.	泌尿器科	Clinical Practice Guidelines for Bladder Cancer 2019 update by the Japanese Urological Association: Summary of the revision	International Journal of Urology・2020	Original Article
63	Matsumoto H., Shiraishi K., Azuma H., et al.	泌尿器科	Clinical Practice Guidelines for Bladder Cancer 2019 edition by the Japanese Urological Association: Revision working position paper	International Journal of Urology・2020	Original Article
64	Nakamura K., Nagata Y., Hiroyoshi T., et al.	泌尿器科	The effect of lanthanum carbonate on calciprotein particles in hemodialysis patients	Clinical and Experimental Nephrology・2020	Original Article
65	Shiraishi K., Matsuyama H.	泌尿器科	Outcomes of partial intussusception and endo-to-side vasoepididymostomy in men with epididymal obstructive azoospermia	International Journal of Urology・2020	Original Article
66	Shiraishi K.	泌尿器科	Editorial Comment to Peyronie's disease: Contemporary evaluation and management	International Journal of Urology・2020	Note
67	Shiraishi K., Oka S., Matsuyama H.	泌尿器科	Testicular Testosterone and Estradiol Concentrations and Aromatase Expression in Men with Nonobstructive Azoospermia	The Journal of clinical endocrinology and metabolism・2021	Original Article

68	Shiraishi K., Ohmi C., Matsuyama H.	泌尿器科	Patient-reported outcomes and biochemical alterations during hormonal therapy in men with hypogonadotropic hypogonadism who have finished infertility treatment	Endocrine Journal • 2021	Original Article
69	Shiraishi K, Tabara M, Matsuyama H.	泌尿器科	Transcriptome Analysis to Identify Human Spermatogonial Cells from Sertoli Cell-Only Testes.	J Urol. • 2020	Original Article
70	Wakuta M., Nomi N., Ogata T., et al.	眼科	A Trinity regimen with aflibercept for treatment-naïve neovascular age- related macular degeneration: 2- year outcomes	Graefe's Archive for Clinical and Experimental Ophthalmology • 2020	Original Article
71	Yanai R, Nishida T, Hatano M, et al.	眼科	Role of the Neurokinin-1 Receptor in the Promotion of Corneal Epithelial Wound Healing by the Peptides FGLM-NH2 and SSSR in Neurotrophic Keratopathy. I	Invest Ophthalmol Vis Sci. • 2020	Original Article
72	Tsuda J., Sugahara K., Yamashita H.	耳鼻咽喉科	Glycative stress and the inner ear disorder	Glycative stress research • 2020.9	Original Article

73	Shiinoki T., Fujii F., Yuasa Y., et al.	放射線治療科	Analysis of dosimetric impact of intrafraction translation and rotation during respiratory-gated stereotactic body radiotherapy with real-time tumor monitoring of the lung using a novel six degrees-of- freedom robotic moving phantom	Medical Physics • 2020	Original Article
----	--	--------	---	------------------------	------------------

74	Shiinoki T., Fujii F., Fujimoto K., et al.	放射線治療科	A novel dynamic robotic moving phantom system for patient-specific quality assurance in real-time tumor-tracking radiotherapy	Journal of Applied Clinical Medical Physics・2020	Original Article
75	Tanaka H., Makita C., Manabe Y., et al.	放射線治療科	Radiation therapy combined with bone-modifying agents ameliorates local control of osteolytic bone metastases in breast cancer	Journal of Radiation Research・2020	Original Article
76	Mihara Y., Maekawa R., Sato S., et al.	産科婦人科	An integrated genomic approach identifies HOXC8 as an upstream regulator in ovarian endometrioma	Journal of Clinical Endocrinology and Metabolism・2020	Original Article
77	Tamura I., Takagi H., Doi-Tanaka Y., et al.	産科婦人科	Wilms tumor 1 regulates lipid accumulation in human endometrial stromal cells during decidualization	Journal of Biological Chemistry・2020	Original Article
78	Tamura I., Maekawa R., Jozaki K., et al.	産科婦人科	Transcription factor C/EBP β induces genome-wide H3K27ac and upregulates gene expression during decidualization of human endometrial stromal cells	Molecular and Cellular Endocrinology・2021	Original Article
79	Tamura H., Jozaki M., Tanabe M., et al.	産科婦人科	Importance of Melatonin in Assisted Reproductive Technology and Ovarian Aging	International journal of molecular sciences・2020	Original Article

80	Murata S, Nakata M, Sugino N	産科婦人科	Prevalence of right ventricular outflow tract abnormalities among recipients in twin-twin transfusion syndrome after fetoscopic laser surgery in 90 consecutive cases.	Journal of Medical Ultrasonics • 2020	Original Article
81	Tamura I, Kawamoto-Jozaki M, Fujimura T, et al.	産科婦人科	Relationship between follicular size and developmental capacity of oocytes under controlled ovarian hyperstimulation in assisted reproductive technologies	Reproductive Medicine and Biology • 2021	Original Article
82	Sugimoto K., Morais A., Sadeghian H., et al.	脳神経外科	Intravascular Endothelin-1 does not trigger or increase susceptibility to Spreading Depolarizations	Journal of Headache and Pain • 2020.1	Original Article
83	Sugimoto K., Chung D.Y., Böhm M., et al.	脳神経外科	Peri-Infarct Hot-Zones Have Higher Susceptibility to Optogenetic Functional Activation-Induced Spreading Depolarizations	Stroke • 2020.8	Original Article
84	Sugimoto K., Chung D.Y.	脳神経外科	Spreading Depolarizations and Subarachnoid Hemorrhage	Neurotherapeutics • 2020.4	Review
85	Harada K., Takenawa T., Ferdous T., et al.	歯科口腔外科	Elemental diet directly affects chemotherapy-induced dermatitis and raw wound areas	Molecular and Clinical Oncology • 2020	Original Article

86	Harada K., Nakashima D., Nagao Y., et al.	歯科口腔外科	Treatment of refractory oral lichen planus using direct antiviral agents in a patient with chronic hepatitis C: A case report,	Oral Science International・2020 June	Case Report
87	Harada K., Ferdous T., Watanabe K., et al.	歯科口腔外科	Effects of an elemental diet, Elental®, may differ between healthy oral cells and oral cancer cells	Oncology Reports・2021	Original Article

計87件

- (注) 1 当該特定機能病院に所属する医師等が前年度に発表した英語論文のうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断されるものを七十件以上記入すること。七十件以上発表を行っている場合には、七十件のみを記載するのではなく、合理的な範囲で可能な限り記載すること。
- 2 報告の対象とするのは、筆頭著者の所属先が当該特定機能病院である論文であり、査読のある学術雑誌に掲載されたものに限るものであること。ただし、実態上、当該特定機能病院を附属している大学の講座等と当該特定機能病院の診療科が同一の組織として活動を行っている場合においては、筆頭著者の所属先が大学の当該講座等であっても、論文の数の算定対象に含めるものであること(筆頭著者が当該特定機能病院に所属している場合に限る。)
- 3 「発表者氏名」に関しては、英文で、筆頭著者を先頭に論文に記載された順に3名までを記載し、それ以上は、他、またはet al.とする。
- 4 「筆頭著者の所属」については、和文で、筆頭著者の特定機能病院における所属を記載すること。
- 5 「雑誌名・出版年月等」欄には、「雑誌名 出版年月(原則雑誌掲載月とし、Epub ahead of printやin pressの掲載月は認めない); 巻数: 該当ページ」の形式で記載すること
(出版がオンラインのみの場合は雑誌名、出版年月(オンライン掲載月)の後に(オンライン)と明記すること)。
記載例: Lancet. 2015 Dec; 386: 2367-9 / Lancet. 2015 Dec (オンライン)
- 6 「論文種別」欄には、Original Article、Case report、Review、Letter、Othersから一つ選択すること。

(2)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象とならない論文(任意)

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院における所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
1	姫宮彩子1)・ 藤宮龍也2)	法医学講座	超高速型のアルコール代謝能を示すアルコール使用障害者による飲酒運転事故の一例	日本アルコール・薬物医学会雑誌	
2	Himemiya-Hakuchō A 1), Fujimiya T 2)	法医学講座	Sudden unexpected death of a young male with histological findings in the intramyocardial small arteries and the cardiac conduction system.	法医病理	
3	日高 勲, 原野 純礼, et al.	消化器内科学	「症状チェックシート」を用いた肝硬変患者における症状早期発見の試み	肝臓	
4	田口 昭彦, 谷澤 幸生	病態制御内科学	【インスリン分泌機構とその異常】第6章 時計遺伝子とインスリン分泌異常について	医学出版社 月刊糖尿病	
5	椎木幾久子, 田部勝也, 谷澤幸	病態制御内科学	ウォルフラム症候群について	医学出版社 月刊糖尿病	
6	田口 昭彦, 太田 康晴, 谷澤 幸生	病態制御内科学	時計遺伝子と糖代謝	日本体質医学会雑誌	
7	Shimizu F, Kanda T.	臨床神経学	GRP78 antibodies are associated with blood-brain barrier breakdown in paraneoplastic cerebellar degeneration in Lambert-Eaton myasthenic syndrome.	Clin. Exp. Neuroimmunol	
8	神田 隆	臨床神経学	【がんの分子標的薬、免疫療法薬の知っておきたい副作用】【合併症】神経系合併症	日本医師会雑誌	
9	神田 隆	臨床神経学	【免疫・炎症疾患のすべて】免疫・炎症疾患各論/神経疾患 ギラン・バレー症候群 (GBS)	日本医師会雑誌	

10	大石 真莉子, 神田 隆	臨床神経学	【プライマリ・ケアにおける神経症候へのアプローチ】各論(症状編) 感覚障害の診かた 脳梗塞などの危険なしびれ, 手根管症候群などの頻度の高いしびれの鑑別ポイント	Medicina	
11	大石 真莉子, 神田 隆	臨床神経学	免疫性神経疾患 update-基礎・臨床研究の最新知見- 自己免疫性脳炎の診断と治療(自己抗体を含めて)	日本臨床	
12	古賀 道明	臨床神経学	【サルコイドーシス】末梢神経サルコイドーシス	Brain Nerve	
13	古賀 道明	臨床神経学	フィッシャー症候群と先行感染 臨床的な観点からのアプローチ	末梢神経	
14	清水 文崇, 神田 隆	臨床神経学	ペリサイトと神経系 生理的役割と病理的意義	Brain Nerve	
15	清水 文崇, 神田 隆	臨床神経学	Lambert-Eaton筋無力症とGRP78自己抗体	医学のあゆみ	
16	清水 文崇, 神田 隆	臨床神経学	【免疫性神経疾患 update-基礎・臨床研究の最新知見-】自己免疫性神経疾患でのGRP78抗体	日本臨床	
17	竹下 幸男, 神田 隆	臨床神経学	【COVID-19-脳神経内科医が診るための最新知識】COVID-19神経合併症 末梢神経障害と筋障害	Brain Nerve	
18	竹下 幸男, 神田 隆	臨床神経学	【糖尿病性神経障害の病態解明と治療戦略】糖尿病性神経障害の成因 血管障害	月刊糖尿病	
19	竹下 幸男, 神田 隆	臨床神経学	神経疾患と慢性炎症 脳血管障害、血液脳関門と神経炎症	別冊Bio Clinica: 慢性炎症と疾患	
20	藤澤 美和子, 古賀 道明, 神田 隆	臨床神経学	【サルコイドーシス】脊髄サルコイドーシス	Brain Nerve	

21	山形弘隆, 中川伸	高次脳機能病態学	糖鎖とうつ病	Trends in Glycoscience and Glycotechnology	
22	萩原康輔, 陳冲, 中川伸	高次脳機能病態学	情報処理理論からみたうつ病における認知障害—Hot vs. cold cognition—	精神科	
23	藤本 洋輔, 安岡 和昭, et al.	小児科学	乳児期にHoyeraal-hreidarsson syndromeと診断した極低出生体重児例(	日本産婦人科・新生児血液学会誌	
24	三原惇史, 岩永隆太, et al.	整形外科科学	寛骨臼周囲の悪性骨腫瘍に対する広範切除後に放射線処理骨と血管柄付き自家骨移植を併用した再建の治療成績	中国・四国整形外科学会雑誌	
25	坂井孝司	整形外科科学	術中手術支援 股関節の骨切り術に対するPSG	関節外科	
26	坂井孝司	整形外科科学	特発性大腿骨頭壊死症の診断基準と鑑別診断	Orthopaedics	
27	今城靖明, 船場真裕, 坂井孝司	整形外科科学	頸椎部圧迫性脊髓症はどのように進行するか	臨床神経生理学	
28	今釜 崇, 徳重厚典, 中島大介, 坂井孝司	整形外科科学	人工股関節全置換術後の自覚的脚長差に影響する因子の検討	Hip Joint	
29	今釜 崇, 坂井孝司	整形外科科学	大腿骨ステム周囲骨折の骨接合のテクニック	臨床整形外科	
30	今城靖明, 鈴木秀典, et al.	整形外科科学	腰椎変性疾患による術前足底部のしびれに関連する因子について検討	Joournal of Spine Research	
31	関 万成, 徳重厚典, et al.	整形外科科学	人工膝関節全置換術の術後急性期痛は患者満足度と術後遷延性疼痛に影響を与えるか	日本人工関節学会誌	
32	下村裕	皮膚科学	発汗異常を伴う遺伝性疾患	発汗学	

33	下村裕	皮膚科学	先天性毛髪疾患について教えてください	皮膚科の臨床	
----	-----	------	--------------------	--------	--

34	下村裕	皮膚科学	先天性毛髪疾患と毛包の加齢	加齢皮膚医学セミナー	
35	亀谷悠介, 若松弘也, et al.	麻酔・蘇生学	着用型自動除細動器のショック適応判断に関する検討	蘇生	
36	松本美志也, 山下敦生, 石田和慶	麻酔・蘇生学	麻酔と脳神経	Anet	
37	土師康平, 末廣栄一, et al.	脳神経外科学	抗血栓薬内服中の高齢者頭部外傷に対する中和療法の効果に関する検討	脳神経外科 Neurological surgery	
38	末廣栄一, 藤山雄一, et al.	脳神経外科学	頭部外傷診療における血液バイオマーカーの役割	脳神経外科ジャーナルJpn J Neurosurg	
39	石田 博	医療情報判断学	電子カルテ情報によるNCD症例登録支援	Precision Medicine	

計39件

(注) 1 当該医療機関に所属する医師等が前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断される主なものを記入すること。

2 記載方法は、前項の「高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文」の記載方法に準じること。

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

3 高度の医療技術の開発及び評価の実施体制

(1) 倫理審査委員会の開催状況

① 倫理審査委員会の設置状況	☒ 有・無
② 倫理審査委員会の手順書の整備状況	☒ 有・無
・ 手順書の主な内容 目的と適用範囲について、委員会の役割・責務について、委員会の業務について等 人を対象とする医学系研究に関する倫理指針、ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針に則った各項目を整備し、手順書を定めている。	
③ 倫理審査委員会の開催状況	年 13 回

(注) 1 倫理審査委員会については、「臨床研究に関する倫理指針」に定める構成である場合に「有」に○印を付けること。

2 前年度の実績を記載すること。

(2) 利益相反を管理するための措置

① 利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の設置状況	☒ 有・無
② 利益相反の管理に関する規定の整備状況	☒ 有・無
・ 規定の主な内容 委員会の設置について、審議事項について、組織について等	
③ 利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の開催状況	年 12 回

(注) 前年度の実績を記載すること。

(3) 臨床研究の倫理に関する講習等の実施

① 臨床研究の倫理に関する講習等の実施状況	年 9 回
・ 研修の主な内容 人医学系研究の倫理指針・臨床研究法について、申請手続きについて、IRB審査について、人医学系研究に係る利益相反について等	

(注) 前年度の実績を記載すること。

(様式第 4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

1 研修の内容

山口大学医学部附属病院では各診療科長の統括管理の下に専門研修を行っており、本院を基幹施設とし、山口県内の各医療圏の中核病院を主な連携施設として専門研修施設群を形成し、基本領域専門医からサブスペシャルティ専門医まで取得できるように体系的な専門研修プログラムを策定している。

また、大学病院や地域中核病院での数多くの症例経験を通じ、各診療領域における実践的かつ高度な専門的診療能力（知識及び技能）の育成を図っている。

さらに、本院では専門研修を行いつつ山口大学大学院医学系研究科に進学して学位を取得することが可能となっており、今後の医療の発展を支えるリサーチマインドを有する臨床医の養成も推進している。

(注) 上記の研修内容は医師法及び歯科医師法の規定による臨床研修を終了した医師及び歯科医師に対する専門的な研修について記載すること。

2 研修の実績

上記研修を受けた医師数	54人
-------------	-----

(注) 前年度の研修を受けた医師の実績を記入すること。

3 研修統括者

研修統括者氏名	診療科	役職等	臨床経験年数	特記事項
高見 太郎	第一内科	科長	22年	内科
矢野 雅文	第二内科	科長	37年	内科
太田 康晴	第三内科	科長	27年	内科
神田 隆	脳神経内科	科長	39年	内科
松永 和人	呼吸器・感染症内科	科長	30年	内科
長谷川 俊史	小児科	科長	30年	小児科
下村 裕	皮膚科	科長	22年	皮膚科
中川 伸	精神科神経科	科長	31年	精神科
濱野 公一	第一外科	科長	35年	外科
永野 浩昭	第二外科	科長	35年	外科
坂井 孝司	整形外科	科長	27年	整形外科
杉野 法広	産科婦人科	科長	36年	産婦人科
木村 和博	眼科	科長	26年	眼科
山下 裕司	耳鼻咽喉科	科長	36年	耳鼻咽喉科
松山 豪泰	泌尿器科	科長	39年	泌尿器科
石原 秀行	脳神経外科	科長	29年	脳神経外科
伊東 克能	放射線科	科長	33年	放射線科
田中 秀和	放射線治療科	科長	15年	放射線科
松本 美志也	麻酔科蘇生科	科長	36年	麻酔科
池田 栄二	病理形態学	教授	35年	病理
山崎 隆弘	検査部	部長	34年	臨床検査
鶴田 良介	先進救急医療センター	センター長	30年	救急科
野垣 宏	地域・老年看護学	教授	39年	リハビリテーション科
黒川 典枝	総合診療部	部長	36年	総合診療
三島 克章	歯科口腔外科	科長	31年	歯科口腔外科

(注) 1 医療法施行規則第六条の四第一項又は第四項の規定により、標榜を行うこととされている診療科については、必ず記載すること。

(注) 2 内科について、サブスペシャルティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャルティ領域について研修統括者を記載すること。

(注) 3 外科について、サブスペシャルティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャルティ領域について研修統括者を記載すること。

(様式第 4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

4 医師、歯科医師以外の医療従事者等に対する研修

① 医師、歯科医師以外の医療従事者に対する研修の実施状況（任意）

・研修の主な内容／研修の期間・実施回数／研修の参加人数

【検査部】

研 修 名	研修の期間・実施回数(開催日)	参加人数
新採用者研修・オリエンテーション	2020/4/1	5
SARS-CoV-2 核酸検出検査の検査方法説明会	2020/12/2	20
検査部・輸血部・病理診断科 安全衛生に関する講習会	2021/3/28	60

【薬剤部】

研 修 名	研修の期間・実施回数(開催日)	参加人数
新人教育研修(講義②病院薬剤師の役割、薬剤部の構成、オリエンテーション)	2020/4/1	6
新人教育研修(講義④薬剤部紹介)	2020/4/1	15
新人教育研修(講義①③⑤⑥調剤)	2020/4/1、2、6、7	5
新人教育研修(講義⑦⑧⑨⑩注射調剤)	2020/4/9、10、13、15	5
新人教育研修(講義⑫医療安全)	2020/4/17	4
新人教育研修(講義⑬情報セキュリティ)	2020/4/17	4
新人教育研修(講義⑭薬務)	2020/4/20	4
新人教育研修(講義⑮麻薬・薬品管理)	2020/7/1	4
新人教育研修(講義⑯治療)	2020/7/2	4
新人教育研修(講義⑰DI)	2020/7/3	4
新人教育研修(講義⑱製剤)	2020/7/10	4
薬物治療勉強会(精神疾患)	2020/5/21	5
薬物治療勉強会(神経・筋疾患)	2020/6/4	5
薬物治療勉強会(骨・関節疾患)	2020/6/18	5
薬物治療勉強会(免疫疾患)	2020/7/2	5
薬物治療勉強会(心臓・血管系疾患)	2020/7/16	5
薬物治療勉強会(腎・泌尿器疾患)	2020/8/6	5
薬物治療勉強会(産科婦人科疾患)	2020/8/20	5
薬物治療勉強会(呼吸器疾患)	2020/9/3	5
薬物治療勉強会(消化器疾患)	2020/9/17	5
薬物治療勉強会(血液および造血器疾患)	2020/10/1	5
薬物治療勉強会(感覚器疾患)	2020/10/15	5
薬物治療勉強会(内分泌・代謝疾患)	2020/11/5	5
薬物治療勉強会(皮膚疾患)	2020/11/19	5
薬物治療勉強会(感染症)	2020/12/3	5
薬物治療勉強会(悪性腫瘍)	2020/12/17	5

【放射線部】

研 修 名	研修の期間・実施回数(開催日)	参加人数
第76回日本放射線技術学会総会学術大会	2020/4/9	1
Q.Clear は本当にブラックボックスなのか?～その中身を徹底解説～	2020/4/15	3
第 79 回日本医学放射線学会総会	2020/5/15	9
第 1 回 WEB 版 INVIVO 講習会「核医学検査の基礎」-ヒキナー向け- 画像収集に関して Part.1	2020/5/18	2
第 1 回 WEB 版 INVIVO 講習会「核医学検査の基礎」-ヒキナー向け- 画像収集に関して Part.2	2020/6/5	2
2020 医学物理士ミニマム講習会(物理工学系)	2020/6/6	1
第 1 回 WEB 版 INVIVO 講習会「核医学検査の基礎」-ヒキナー向け- 画像再構成に関して Part.1	2020/6/12	2
第 1 回 WEB 版 INVIVO 講習会「核医学検査の基礎」-ヒキナー向け- 画像再構成に関して Part.2	2020/6/19	2
2020 年度医学物理士認定試験記述式問題対策講習会	2020/6/20	2
第 1 回 WEB 版 INVIVO 講習会「核医学検査の基礎」-ヒキナー向け- 画像再構成(補正)に関して Part.3	2020/6/26	3
2020 医学物理士ミニマム講習会(医学生物系)	2020/7/4	1
ゲルベジヤパン web セミナー 明日の検査で試してみたい腹部・骨盤領域の一工夫:検査プロトコル最適化が求められる今	2020/7/8	3
Clinical PET Webinar Series from がん研有明病院 ～臨床に役立っていますか?最新 PET テクノロジー活用術～ Series1	2020/7/29	4
泌尿器 WEB セミナー	2020/7/29	1
Clinical PET Webinar Series from がん研有明病院 ～臨床に役立っていますか?最新 PET テクノロジー活用術～ Series2	2020/8/5	4
第45回日本卒中学会総会	2020/8/23	1
新しい骨シンチの時代へ:SwiftScan と Q.Volumetrix	2020/8/24	3
ゲルベジヤパン web セミナー 安全に MRI 造影検査を行うためのポイント	2020/8/26	4
1st. Yamaguchi GE Users Meeting	2020/9/1	4
Web 版 INVIVO 講習会 心臓編 1	2020/9/2	4
Web 版 INVIVO 講習会 心臓編 2	2020/9/9	4
第48回日本磁気共鳴医学会大会	2020/9/11	1
Web 版 INVIVO 講習会 心臓編 3	2020/9/16	3
Web 版 INVIVO 講習会 心臓編 4	2020/9/25	3
Web 版 INVIVO 講習会 心臓編 5	2020/10/2	4
山口県技師会秋季講習会	2020/11/15	14
ハイブリッド OR を自在に動く Discoveryn により発展した当科 EVAR の実際	2020/11/19	4
第 17 回日本乳がん学会中四国地方会	2020/11/24	2
2020 年度エーザイ造影剤インターネットライブセミナー 画像診断セミナー	2020/11/25	11
エーザイ造影剤インターネットライブセミナー 画像診断セミナー	2020/11/25	1
CyberMRI	2020/11/26	2
WEB 版 IN VIVO 講習会 骨編 1	2020/11/26	3
第 6 回医療放射線リスクコミュニケーションセミナー	2020/11/28	1
第 1 回 CT テクノロジー福山オンラインセミナー	2020/11/30	5
WEB 説明会 乳癌骨転移 UPDATE	2020/12/2	1
WEB 版 IN VIVO 講習会 骨編 2	2020/12/3	3

第 16 回 山口CTテクノロジーセミナー	2020/12/4	6
中四国 Magnetom 研究会	2020/12/6	2
Signa 甲子園2020WEB	2020/12/7	1
第 55 回山口 MR 撮像技術研究会	2020/12/8	5
WEB 版 IN VIVO 講習会 骨編 3	2020/12/11	3
RSNA 2020 Flash Seminar	2020/12/16	2
ゲルベジヤパン Web セミナー 臨床に役立つ胸部領域の画像診断 COVID-19 肺炎の最新情報	2020/12/16	10
第 3 回 SPECT Q系 User's Meeting	2020/12/16	3
第 14 回関西地区統一講習会(基礎コース)	2021/1/1	1
第 40 回大塚ゼミ	2021/1/11	39
JART 放射線技師基礎技術講習 中四国地域	2021/1/17	6
ゲルベジヤパン Web セミナー 臨床に役立つ中枢神経領域の画像診断	2021/1/20	5
第 30 回放射線治療品質管理士講習会	2021/1/20	4
第 31 回機構主催セミナー 一般社団法人 日本血管造影・インターベンション専門診療放射線技師認定機構	2021/1/23	1
エーザイ造影剤インターネットライブセミナー CTにおける造影剤の適正使用	2021/1/25	13
第 55 回放射線治療セミナー「放射線治療装置を立ち上げよう」	2021/1/30	1
第 19 回九州放射線治療システム研究会	2021/1/30	2
マルチモダリティフォーラム	2021/1/30	5
第 17 回 山口 MAGNETOM 研究会	2021/1/31	3
第 14 回関西地区統一講習会(応用コース)	2021/2/1	1
第 12 回熊本核医学技術研究会	2021/2/5	3
2020 年度日本放射線技術学会中国四国支部セミナー「初心者にもわかる！研究のテーマと進め方」	2021/2/6	2
第 45 回核医学夢工房	2021/2/7	3
エーザイ造影剤インターネットライブセミナー 前立腺がん、膀胱がんにおけるマルチパラメトリック MRI 診断の現状について	2021/2/9	9
第 30 回日本乳がん画像研究会	2021/2/12	3
令和2年度 実践的放射線治療人材育成セミナーPython 講習会	2021/2/14	2
第 56 回山口 MR 撮像技術研究会	2021/2/20	4
第 38 回山口県放射線治療研究会	2021/2/20	7
ゲルベジヤパン Web セミナー 臨床に役立つ腹部領域の画像診断	2021/2/24	6
第 15 回 MICCS 講習会	2021/2/24	3
WEB-DPC 講演会	2021/2/24	2
第 21 回 ももたろう CT イメージングセミナー	2021/2/25	3
WEB 版 IN VIVO 講習会 脳編 1	2021/2/25	4
CT テクノロジーセミナー 福山オンラインセミナー	2021/2/26	5
宇部・小野田地域講習会 ①冠動脈 CT の 1 次読影 こんな感じでやっております ～Please don't ask me a difficult question.～②救急症例報告 ～うべおのだ地域から救急患者を救おう～	2021/2/26	8
第 43 回 関西 CT 技術シンポジウム	2021/2/27	1
第 14 回関西地区統一講習会(応用コース)	2021/3/1	1
第 68 回札幌核医学技術研究会	2021/3/1	3
ゲルベジヤパン Web セミナー	2021/3/3	1
WEB 版 IN VIVO 講習会 脳編 2	2021/3/4	4

心不全診断治療 Web 講演会	2021/3/4	1
第 5 回中四国キヤノン CT ユーザー会 in 四国	2021/3/6	4
山口県技師会 春季講習会	2021/3/7	12
NET Web Seminar -GI-NET 編-	2021/3/8	3
ゲルベジャパン Web セミナー 『臨床に役立つ泌尿器領域の画像診断 ～腎・尿路・前立腺～』	2021/3/10	5
WEB 版 IN VIVO 講習会 脳編 3	2021/3/11	3
第 11 回オンライン九州 Ai 研究会	2021/3/12	1
令和2年度 実践的放射線治療人材育成セミナー電子線治療の品質 管理講習会	2021/3/13	3
第 27 回 New Horizon for Cardiology	2021/3/13	1
山口県乳がん部会講習会	2021/3/14	3
認知症 Web 講演会	2021/3/17	3
第 40 回日本画像医学会 ランチョンセミナー兼エーザイ造影剤インタ ーネットライブセミナー すべての医師に知ってほしい造影剤安全使 用のための基礎知識	2021/3/18	7
WEB 版 IN VIVO 講習会 脳編 4	2021/3/18	3
NET Web Seminar -Pan-NET 編-	2021/3/19	1
第 46 回ニュータウンカンファレンス	2021/3/20	5
WEB セミナー「画像が導く治療戦略」	2021/3/23	1
ゲルベジャパン Web セミナー 臨床に役立つ心臓領域の画像診断～ 心臓 CT を活かすための勘所～	2021/3/24	6
WEB 版 IN VIVO 講習会 脳編 5	2021/3/25	3
エーザイ インターネットライブセミナー:CT コロノグラフィー	2021/3/30	6
ハートフロー・ジャパン合同会社 第 112 回 TCTT FFRCT の現状と展 望	2021/3/30	7

【看護部／対象：新人】

研 修 名	研修の期間・実施回数(開催日)	参加人数
新採用者研修・オリエンテーション	2020/4/1-3	81
技術演習 感染対策	2020/4/3	81
技術演習 体位変換・移送・移乗	2020/4/3	78
新人サポート研修 コミュニケーション I		
電子カルテシステム	2020/4/6,7,8	81
医療安全に関する研修 I リスクマネジメントマニュアルを知ろう	2020/4/15	82
内服薬・貼付剤・外用薬の知識	2020/4/15	82
防火訓練	2020/6/29・7/9	89
静脈注射 知識編 I、「静脈注射の基礎知識」	2020/4/21	82
技術演習 輸液管理 輸液ポンプ・シリンジポンプの準備と管理	2020/4/23	74
新人サポート研修 社会人基礎力		
看護記録 I ～看護記録の基礎～	2020/4/30	79
褥瘡予防ケア	2020/4/30	82
技術演習 静脈血採血 皮下注射・筋肉内注射	2020/5/9	74
静脈注射 知識編 II ①「インスリンの知識と管理」	2020/5/9	82
技術演習 導尿・膀胱留置カテーテルの挿入と管理・浣腸	2020/5/23	74
技術演習 吸引・吸入	2020/5/23	76

医材センター研修	2020/5/23	74
2か月目のふりかえり	2020/6/6	81
メンタルヘルス		
技術演習 経管栄養管理 多重課題シミュレーションⅠ	2020/6/6	72
技術演習 フィジカルアセスメントⅠ	2020/7/3	74
技術演習 急変対応を学ぶ	2020/7/21	76
技術演習 静脈留置針の挿入	2020/8/5	72
看護必要度研修(新人編)	2020/8/18	76
技術演習 心電図モニター・12誘導	2020/9/2	73
静脈注射 知識編Ⅱ②「麻薬・劇薬・毒薬の知識と管理」 「ハイリスク注射薬の知識と管理」	2020/9/9	77
6か月目のふりかえり	2020/9/27	73
静脈注射 知識編Ⅲ、「抗がん剤の知識と管理」	2020/10/12	81
静脈注射 知識編Ⅳ、「輸血の知識と管理」	2020/10/21	76
看取りの看護 ～逝去時の看護手順～	2020/11/4	74
フォローアップデー	2020/12/2	65
医療安全に関する研修Ⅱ リスク感性を高めよう:KYT	2020/12/9・12/25	72
酸素吸入療法と人工呼吸器の基礎知識	2020/12/14	72
技術演習 多重課題シミュレーションⅡ	2021/1/26	72
1年の振り返り	2021/3/3	71

【看護部／対象：ラダーⅡを目指す人】

研 修 名	研修の期間・実施回数(開催日)	参加人数
静脈注射 知識編Ⅴ 静脈注射にまつわるインシデント CVポートの知識と管理	2020/6/10	91
フィジカルアセスメントⅡ ～変化を予測した情報収集のためのイグザミネーション～	2020/7/8・7/29	71
フィジカルアセスメントⅢ ～状態に気づくためのアセスメント～	2020/8/2・8/26	54
リフレクション ～看護実践を内省する～	2020/12/4 12/18	50
チーム医療と組織での看護師の役割	2020/11/6	23
看護記録Ⅱ ～看護過程と看護記録～	2020/12/7	69
メンバーシップ	2021/1/29 2/4	69
看護記録Ⅲ ～看護実践のまとめ方～	2021/2/5	25
組織の中での役割を考える ～チーム活動を促進する～	2021/2/15 2/25	54
プリセプター研修②	2020/6/4	52
プリセプター研修③	2021/2/17	35
プリセプター研修①	2021/3/16	43
看護研究① 研究テーマの決め方 文献検索の方法	2020/6/16	39
看護研究② クリティック	2020/7/13	25
看護研究③ 研究方法	2020/8/25	39
看護研究④ 研究計画書の作成方法 倫理審査	2020/9/30	45
看護研究⑤ 抄録の作り方 スライド作成 プレゼンテーション	2020/11/27	21
クリティカルケア院内研修	2021/1/12～2/19	15

【看護部／対象：ラダーⅢを目指す人】

研 修 名	研修の期間・実施回数(開催日)	参加人数
論理的な文章の書き方	2020/7/17	26
ケアにおけるリーダーシップ	2020/9/18	22
看護に活かすナラティブ	2020/11/13	17
これからの退院支援①(基礎編)	2020/11/24	67
これからの退院支援②(実践編)	2021/3/3	16
臨床指導のスキル	2021/2/2	18

【看護部／対象：ラダーⅣを目指す人】

研 修 名	研修の期間・実施回数(開催日)	参加人数
《4回シリーズ》 看護倫理①	2020/8/31	16
看護倫理②	2020/11/5	16
看護倫理③	2020/12/16	15
看護倫理④	2021/1/22	16
人を育てるとは	2020/11/30	22

【看護部／対象：全看護師】

研 修 名	研修の期間・実施回数(開催日)	参加人数
2020 看護部の取り組み	2020/6 月	822
静脈注射 技術編Ⅲ CV ポート技術演習	2020/7/17 2021/1/15	29
看護倫理	2020/7/27 12/3	68
災害医療	2020/10/15	277
第96回 院内看護研究発表会	2021/2/27	149
報告会	2021/3/12	76
院内 ICLS 研修	2020/10/29	9
院内 ICLS 研修	2020/11/17	9
院内 ICLS 研修	2020/12/10	10
院内 ICLS 研修	2021/1/19	8
院内 ICLS 研修	2021/2/9	9
院内 ICLS 研修	2021/3/11	10
2020 看護部の取り組み	2020/6 月	822

【看護部／対象：管理者】

研 修 名	研修の期間・実施回数(開催日)	参加人数
看護管理研修(看護師長) 労務管理	2020/6 月～8 月	38
看護管理研修(看護師長・副看護師長) 部署目標の評価	2020/10/9 10/26 2021/3/5	95
昇任管理者研修・オリエンテーション	2021/3/12	11

【看護部／対象：その他】

研 修 名	研修の期間・実施回数(開催日)	参加人数
看護必要度研修	2020/8/31 2020/9/4 2020/9/11 2020/9/14	526

褥瘡予防と褥瘡発生後のケア

2020/6月～7月

737

【看護部／対象：看護補助者】

研 修 名	研修の期間・実施回数(開催日)	参加人数
医療制度の概要及び病院の機能と組織の理解 看護補助者の役割	2020/5/26	67
医療安全	2020/6/26	75
感染防止対策① ～PPEと環境整備について学ぶ～	2020/4/17	68
技術演習	2020/9/1	39
感染防止対策②	2020/10/9	69
一次救命処置	2020/12/11	70
振り返り	2021/3/4	70

② 業務の管理に関する研修の実施状況（任意）

・研修の主な内容／研修の期間・実施回数／研修の参加人数

【放射線部】

研 修 名	研修の期間・実施回数(開催日)	参加人数
防護管理者定期講習会	2020/8/13	2
令和2年度放射線安全管理講習会	2020/12/21	2
放射線取扱主任者定期講習会(e-ラーニング講習)	2021/2/1	1

③ 他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況

・研修の主な内容

・研修の期間・実施回数

・研修の参加人数

(注) 1 高度の医療に関する研修について、前年度実績を記載すること。

(注) 2 「③他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況」については、医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院についてのみ記載すること。また、日本全国の医療機関に勤務する医療従事者を対象として実施した専門的な研修を記載すること。

(様式第 5)

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法に関する書類

計画・現状の別	1. 計画	2. 現状
管理責任者氏名	病院長 杉野 法広	
管理担当者氏名	総務課長 古田 尚文 医事課長 石田 恭子	

		保 管 場 所	管 理 方 法
診療に関する諸記録	規則第二十二條の三第二項に掲げる事項	病院日誌	医学部総務課
		各科診療日誌	各診療科
		処方せん	薬剤部
		手術記録	診療録センター 医療情報部
		看護記録	診療録センター 医療情報部
		検査所見記録	診療録センター 医療情報部
		エックス線写真	各診療科 放射線部
		紹介状	診療録センター 医療情報部
		退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約及び入院診療計画書	診療録センター 医療情報部
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第二十二條の三第三項に掲げる事項	従業者数を明らかにする帳簿	医学部総務課
		高度の医療の提供の実績	医学部医事課
		高度の医療技術の開発及び評価の実績	医学部総務課 医学部経営企画課
		高度の医療の研修の実績	医学部総務課
		閲覧実績	医学部総務課 医学部医事課
		紹介患者に対する医療提供の実績	医学部医事課
		入院患者数、外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿	医学部医事課
	規則第一條の十一第一項に掲げる事項	医療に係る安全管理のための指針の整備状況	医療の質・安全管理部
		医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	医療の質・安全管理部
		医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	医療の質・安全管理部
		医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	医療の質・安全管理部

			保 管 場 所	管 理 方 法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第一条の十一第二項第一号から第三号までに掲げる事項	院内感染対策のための指針の策定状況	感染制御部	左記保管場所において、紙媒体・電子データ等で保管管理している。
		院内感染対策のための委員会の開催状況	感染制御部	
		従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	感染制御部	
		感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況	感染制御部	
		医薬品安全管理責任者の配置状況	医学部総務課	
		従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	薬剤部	
		医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	薬剤部	
		医薬品の安全使用のために必要となる未承認等の医薬品の使用の情報その他の情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	薬剤部	
		医療機器安全管理責任者の配置状況	医学部総務課	
		従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	ME機器管理センター	
		医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	ME機器管理センター	
		医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	ME機器管理センター	

		保 管 場 所	管 理 方 法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第九条の二十の二第二項第一号から第十三号まで及び第十五条の四各号に掲げる事項	医療安全管理責任者の配置状況	医学部総務課
		専任の院内感染対策を行う者の配置状況	医学部総務課
		医薬品安全管理責任者の業務実施状況	薬剤部
		医療を受ける者に対する説明に関する責任者の配置状況	医学部総務課
		診療録等の管理に関する責任者の選任状況	医学部総務課
		医療安全管理部門の設置状況	医学部総務課
		高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の状況	医学部医事課
		未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の状況	医学部医事課
		監査委員会の設置状況	医学部総務課
		入院患者が死亡した場合等の医療安全管理部門への報告状況	医学部医事課
		他の特定機能病院の管理者と連携した相互立入り及び技術的助言の実施状況	医学部医事課
		当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	医学部医事課
		医療安全管理の適正な実施に疑義が生じた場合等の情報提供を受け付けるための窓口の状況	総務企画部総務課
		職員研修の実施状況	医学部総務課 医学部医事課
		管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者のための研修の実施状況	医学部総務課
		管理者が有する権限に関する状況	医学部総務課
		管理者の業務が法令に適合することを確保するための体制の整備状況	医学部総務課
		開設者又は理事会等による病院の業務の監督に係る体制の整備状況	医学部総務課

(注)「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。また、診療録を病院外に持ち出す際に係る取扱いについても記載すること。

(様式第 6)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法に関する書類

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

計画・現状の別	1. 計画	2. 現状
閲覧責任者氏名	病院長 杉野 法広	
閲覧担当者氏名	総務課長 古田 尚文 医事課長 石田 恭子	
閲覧の求めに応じる場所	医学部本館2階 事務室 外来診療棟1階 患者相談室	
閲覧の手続の概要		
・ 閲覧申込 閲覧申込書を総務課総務係に提出する ・ 提出先 病院長 ・ 閲覧方法 指定した日時・場所で行う ・ 返納方法 当日返納とし、総務課総務係に返納する		

(注) 既に医療法施行規則第 9 条の 20 第 5 号の規定に合致する方法により記録を閲覧させている病院は現状について、その他の病院は計画について記載することとし、「計画・現状の別」欄の該当する番号に○印を付けること。

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数		延	0 件
閲覧者別	医 師	延	0 件
	歯 科 医 師	延	0 件
	国	延	0 件
	地方公共団体	延	0 件

(注) 特定機能病院の名称の承認申請の場合には、必ずしも記入する必要はないこと。

規則第1条の11第1項各号に掲げる医療に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	有・無
・ 指針の主な内容： ・ 本院における医療事故防止のための安全管理の取り組みについて ・ 本院における安全管理体制の確保及び推進のため、病院長を委員長とした「医療の質・安全管理委員会」を設置するとともに、医療の質・安全管理委員会の任務を推進し、組織横断的に安全管理を担う「医療の質・安全管理部」を設置することについて ・ 医薬品、医療機器及び診療用放射線の安全使用のための責任者として「医薬品安全管理責任者」、「医療機器安全管理責任者」及び「医療放射線安全管理責任者」を置くとともに、医療安全管理委員会、医療の質・安全管理部、医薬品安全管理責任者、医療機器安全管理責任者及び医療放射線安全管理責任者を統括する「医療安全管理責任者」を置き、病院全体で医療安全に取り組むことについて ・ 全職員を対象として、医療安全に関する研修会を年2回以上開催することについて ・ 院内全死亡事例の報告並びに医療の質・安全管理部及び医療の質・安全管理委員会において全事例の検討を行うことについて ・ 院内で発生したインシデントの報告を受けて、医療の質・安全管理部及び医療の質・安全管理委員会において、内容の調査・分析及び再発防止策の検討を行い、インシデントの概要並びに再発防止策については、リスクマネージャ連絡会議等を通じて院内に啓発を行うことについて ・ 医療事故等発生時の対応に関することについて ・ 患者等が当該指針を閲覧できることについて ・ 患者相談窓口を常設し、患者等からの苦情や相談に応じるための組織や体制等を整備していることについて ・ マニュアルの作成や見直し、診療録等の記録の指導について ・ 高難度新規医療技術を用いた医療の提供について	
② 医療に係る安全管理のための委員会の設置及び業務の状況	
・ 設置の有無（ 有・無 ） ・ 開催状況：年 12 回 ・ 活動の主な内容： 1. 毎月1回定期的に、緊急時はその都度開催し下記について審議する。 (1) 医療の質管理及び改善に関すること。 (2) 医療事故防止に関すること。 (3) 医療訴訟の対策に関すること。 (4) 院内死亡事例に関すること。 2. 医療の質・安全管理部（医療安全管理部門）と連携し、医療の質・安全管理部の企画・立案する病院全体の医療の安全管理について、具体的な実践を指導監督する。	

3. 本院のリスクマネジメントマニュアル等の作成や見直し及び診療録等の記入について、関係者に周知して医療事故防止に努め、安全管理を図る

4. 医療事故防止のための安全管理に関する教育・研修会等を開催する。

③ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況

年 2 回

・ 研修の内容（すべて）：

研修内容	研修日	対象者	講師	参加人数
「医療安全管理体制、医療安全推進のための目標、せん妄対策」「2019年度のインシデント報告より」「医薬品に関わるインシデント事例から学ぶこと」「外部監査結果および医療の質評価への取り組み」	2020/6/19	全職員	医師GRM 医師GRM 薬剤師GRM 看護師GRM	1885 人 (e ラーニング、VTR 講習会、DVD 貸し出しを含む)
医療者のためのコミュニケーション入門 ～アンダーマネジメントと医療メディエーション～	2020/12/24	全職員	学外講師	1887 人 (e ラーニング、VTR 講習会、DVD 貸し出しを含む)

④ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の実施状況

- ・ 医療機関内における事故報告等の整備（☒有・無）
- ・ その他の改善のための方策の主な内容：

（インシデント・アクシデント報告の分析・検討）

- ・ 報告されてくる内容別に「薬剤」、「ドレーン・チューブ」など9の項目に分け、その項目をさらに種類別に分け集計を行っている。
- ・ また、別に職種別の報告件数や患者への影響レベル毎の件数を集計している。
- ・ オカレンス報告を増やすため、報告様式を簡素化する計画を立て、今年度に様式を変更予定である。
- ・ 報告の種類別に内容を分析し、報告や検討等を要する事項については、個別に事例分析を行い発生した要因や原因、また再発防止策を提示して医療の質・安全管理委員会、医療の質・安全管理部会議において審議され決定している。リスクマネジャー連絡会議においては決定事項を各部署のリスクマネジャーへ周知するが、再発防止策などの意見を求める場合は、リスクマネジャーを中心に意見を募り医療の質・安全管理部にて検討している。

（院内死亡事例報告の検証）

- ・ 医療の質・安全管理部で毎日死亡事例を抽出し速やかにスクリーニングを行う。
- ・ 情報収集した各種データを基に、医療の質・安全管理部会議及び医療の質・安全管理委員会にて検証を行い、必要な情報を院内にフィードバックしている。

（注）前年度の実績を記入すること。

規則第1条の11第2項第1号に掲げる院内感染対策のための体制の確保に係る措置

① 院内感染対策のための指針の策定状況	有・無															
・ 指針の主な内容： (1) 感染対策に関する基本的考え方 (2) 院内感染対策のための組織に関する基本的事項 (3) 院内感染対策のための職員に対する研修に関する基本方針 (4) 感染症の発生状況の報告に関する基本方針 (5) 院内感染発生時の対応に関する基本方針 (6) 患者等に対する該当指針の閲覧に関する基本方針 (7) 本病院における院内感染対策の推進のために必要な基本方針 (8) 感染対策の地域連携に関する基本方針																
② 院内感染対策のための委員会の開催状況	年 12 回															
・ 活動の主な内容： (1) 感染予防に関すること (2) 感染予防策実施の指導に関すること (3) 感染予防の教育に関すること (4) 職員の職業感染対策に関すること (5) 院内感染の原因調査、経過の追跡、整理及び分析等に関すること (6) 感染制御部の管理及び運営に関すること (7) その他感染対策に関すること																
③ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年 2 回															
・ 研修の内容（すべて）： <table border="1"> <thead> <tr> <th>研修内容</th> <th>研修日</th> <th>対象者</th> <th>講師</th> <th>参加人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>新型コロナウイルスに対する標準予防策について 抗菌薬適正使用について</td> <td>VTR 研修 2020/7/2 2020/7/3 2020/7/7 2020/7/28</td> <td>全職員</td> <td>感染制御部 枝國 信貴 河口 義隆</td> <td>1,952 人</td> </tr> <tr> <td>結核について 抗菌薬適正使用について</td> <td>VTR 研修 2021/01/12 2021/01/13 2021/01/18</td> <td>全職員</td> <td>感染制御部 坂本 健次 薬剤部 北原 隆志</td> <td>1,850 人</td> </tr> </tbody> </table>		研修内容	研修日	対象者	講師	参加人数	新型コロナウイルスに対する標準予防策について 抗菌薬適正使用について	VTR 研修 2020/7/2 2020/7/3 2020/7/7 2020/7/28	全職員	感染制御部 枝國 信貴 河口 義隆	1,952 人	結核について 抗菌薬適正使用について	VTR 研修 2021/01/12 2021/01/13 2021/01/18	全職員	感染制御部 坂本 健次 薬剤部 北原 隆志	1,850 人
研修内容	研修日	対象者	講師	参加人数												
新型コロナウイルスに対する標準予防策について 抗菌薬適正使用について	VTR 研修 2020/7/2 2020/7/3 2020/7/7 2020/7/28	全職員	感染制御部 枝國 信貴 河口 義隆	1,952 人												
結核について 抗菌薬適正使用について	VTR 研修 2021/01/12 2021/01/13 2021/01/18	全職員	感染制御部 坂本 健次 薬剤部 北原 隆志	1,850 人												
④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の状況																
・ 病院における発生状況の報告等の整備 (有・無) ・ その他の改善のための方策の主な内容： ・ 収集した各データや問題点を院内感染対策専門部会で検討している。 ・ 対策を検討し必要な項目は、感染対策委員会へ提案し、協議している。																

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第1条の11第2項第2号に掲げる医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医薬品安全管理責任者の配置状況				有・無
② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況				年 26 回
・ 研修の主な内容：				
研修日	対象者	研修内容	講師	参加人数
2020. 4. 1	医療職員新採用者、研修医	薬剤部の機構と運営「薬剤部の利用について」「医薬品情報-閲覧手順について」「処方箋の取り扱いについて」「麻薬の取り扱いについて」「抗がん剤の取り扱いについて」	副薬剤部長	105 名
2020. 4. 15	新採用看護師	内服薬・貼付薬・外用薬の知識	薬剤主査	82 名
2020. 4. 21	新採用看護師	静脈注射に用いる薬剤の基礎知識	薬剤主査	80 名
2020. 6. 9	全職員	医薬品に関わるインシデント事例から学ぶこと	薬剤師 GRM	1661 名
2020. 6. 12	新採用医師	医薬品に関するルール	薬剤師 GRM	34 名
2020. 6. 25-8. 31	全職員	抗菌薬適正使用について（感染対策講習会）	AST 専従薬剤師	1952 名
2020. 7. 6	B4 看護師	鎮痛薬について	病棟担当薬剤師	10 名
2020. 9. 9	新採用看護師	麻薬・覚せい剤原料、向精神薬・劇薬・毒薬の知識と管理	薬剤主査	73 名
2020. 9. 9	新採用看護師	ハイリスク薬の取扱い	副薬剤部長	73 名
2020. 9. 16	A8 看護師（小児科）	麻薬・覚せい剤原料の取扱いについて 小児科病棟勉強会	病棟担当薬剤師	16 名
2020. 9. 17	B5 看護師	麻薬・覚せい剤原料の取扱いについて	病棟担当薬剤師	10 名
2020. 9. 18	B9 看護師	麻薬・覚せい剤原料の取扱いについて	病棟担当薬剤師	16 名
2020. 10. 8	B6W 看護師	麻薬・覚せい剤原料の取扱いについて	病棟担当薬剤師	26 名
2020. 10. 8	研修医	医薬品の安全管理	副薬剤部長	11 名
2020. 10. 20	A12 看護師	麻薬・覚せい剤原料講習会	病棟担当薬剤師	13 名
2020. 10. 26	A3 看護師	麻薬・覚せい剤原料講習会	病棟担当薬剤師	23 名
2020. 10. 26	A1 看護師	麻薬・覚せい剤原料講習会	病棟担当薬剤師	40 名
2020. 10. 27	A12 看護師	麻薬・覚せい剤原料講習会	病棟担当薬剤師	10 名
2020. 10. 27	B4 看護師	麻薬・覚せい剤原料の取扱いについて	病棟担当薬剤師	11 名
2020. 11. 17	B8 看護師	麻薬・覚せい剤原料の取扱いについて	病棟担当薬剤師	22 名
2020. 11. 18	NICU・GCU 看護師	麻薬・覚せい剤原料講習会	病棟担当薬剤師	23 名
2020. 11. 19	B-5, A12 看護師	麻薬・覚せい剤原料講習会	病棟担当薬剤師	17 名
2020. 1. 19	検査診療部看護師	麻薬・覚せい剤原料講習会	薬剤主査	11 名
2021. 1. 22	A-1 看護師	麻薬・覚せい剤原料講習会	病棟担当薬剤師	16 名
2021. 2. 10	A-病棟看護師	麻薬・覚せい剤原料講習会	病棟担当薬剤師	13 名
2021. 3. 4	A-6、B-6、MFICU、看護師	麻薬・覚せい剤原料講習会	病棟担当薬剤師	19 名

③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況

- ・ 手順書の作成 (☒ 有 ・ 無)
- ・ 手順書の内訳に基づく業務の主な内容：
 - 1) 医薬品の採用に関する事項
 - 2) 医薬品の購入・管理に関する事項
 - 3) 患者に対する医薬品の投薬指示から調剤に関する事項
 - 4) 患者に対する服薬指導に関する事項
 - 5) 医薬品の安全使用に係る情報の取扱い
 - 6) 病棟、中央診療部門、外来における医薬品の管理
 - 7) 他施設（病院、薬局等）との連携に関する事項
 - 8) 輸血・輸血用血液製剤の取扱い
 - 9) 薬剤投与のための機器使用
 - 10) 放射線医薬品の管理
 - 11) 臨床検査薬の管理
 - 12) 造影剤の管理、使用
 - 13) 院内製剤の取扱い
 - 14) 未承認新規医薬品の使用及び医薬品医療機器等の適応外使用について
 - 15) 当該手順書の遵守状況の確認

④ 医薬品の安全使用のために必要となる未承認等の医薬品の使用の情報その他の情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況

- ・ 医薬品に係る情報の収集の整備 (☒ 有 ・ 無)
- ・ 未承認等の医薬品の具体的な使用事例（あれば）：
 - ① 0.2%ピオクタニン（メチルロザニリン）液：口唇裂の手術（形成術および修正術）の際に、切開線の記入および解剖学的基準点の印記。再閉胸に際し、皮膚のトリミングの際のマーキング、組織のデブリードマンの際のマーキング。
 - ② 0.5%デノシン点眼液：サイトメガロウイルスによる角膜炎の沈静化を目的とする。
 - ③ 手指消毒用 78.9%エタノール：院内採用のヘキサックローション（吉田製薬）の供給が制限されており院内での使用を優先するため外来玄関に設置していたヘキサックローションを撤去した。患者から要望が強く厚労省医薬品当物資班より支給される予定の96%エタノールを院内で78.9%の濃度に製剤し外来患者受付に設置する。
- ・ その他の改善のための方策の主な内容：
 - (1) 医薬品を適正に使用するため、医薬品の安全性情報と患者情報の収集を行う。
 - (2) 経過観察が必要な薬剤の投与にあたっては、投与中・投与後の経過観察を継続して行う。
 - (3) 薬剤部より月1回「DI EXPRESS」を発行している。
 - (4) 処方オーダーなど病院情報システムを利用するものについては、医療情報部と連携し、情報を当該端末機にホームページでお知らせする。
 - (5) 心電図検査・心機能検査が求められる医薬品について、リスクに応じて処方時にアラートを表示し、注意喚起している。
 - (6) 転倒転落防止のための不眠時指示のフローチャートを作成し、全病棟の配置薬を該当の薬剤に統一している。
 - (7) 投与間隔が必要な医薬品処方時にアラートを表示し、注意喚起している。
 - (8) 特定薬剤の血中濃度モニタリングを実施する。
 - (9) リスクマネージャー連絡会議などを通じて事故防止対策を周知している。
 - (10) 注射調剤時には、原則バーコードリーダー照合により、処方薬の正しい交付を確認している。
 - (11) 抗がん剤調製は必要に応じて重量鑑査システムを使用し、誤調製を防止している。
 - (12) 内服・外用調剤監査時に必要に応じて画像鑑査システムを使用し誤調剤を防止している。

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第1条の11第2項第3号に掲げる医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療機器安全管理責任者の配置状況	有・無
② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年 36 回

・ 研修の主な内容：

(1) 新しい医療機器導入時の研修

機器名	開催日	受講者数
その他（植え込み型デバイスプログラマー）	5/28	7
人工呼吸器	6/4	12
補助循環装置	7/29	62
人工呼吸器	7/30	4
その他（体外循環用血液ガス分析装置）	8/12	12
補助循環装置	8/12	12
その他（3D マッピング装置 CARTO）	9/7	4
その他（白内障、硝子体内視鏡装置）	9/17	7
人工呼吸器	10/7	21
その他（血液凝固分析装置）	12/16	13
人工呼吸器	1/21	24
	1/28	

(2) 機器別研修

機器名	開催日	受講者数
人工呼吸器（耳鼻科）	10/5	16
補助循環装置	5/1	26
補助循環装置	11/2	14
血液浄化装置	6/18	42
人工呼吸器	5/21	39
補助循環装置 人工呼吸器	8/30	22
補助循環装置 人工呼吸器	Web	32
人工呼吸器 (moodle)	Web	287
除細動器 (moodle)	Web	157
血液浄化装置 (moodle)	Web	114
補助循環 (moodle)	Web	150
保育器	10/21	52
人工呼吸器	12/8	52
その他（加温加湿器）	6/17	52
人工呼吸器	8/13	52

* 今年度はコロナ禍の為、集合型の研修は自粛しました。

* これに替わる物として、院内の動画配信サービスを利用し研修できるようにしました。

血液浄化装置①②③、人工呼吸器①②③④、補助循環装置①②③、除細動装置①②のライブラリがアップされ「MEだより」にて視聴方法、研修確認方法を周知。

(3) 研修医対象

研修内容	開催日	参加者/対象者
輸液の使い方、点滴のセッティング方法（セイフアクセスの使用法）、AED、気管内挿管実習	4/2	8/8
医療機器の取り扱い(テルモ)	4/3	8/8
人工呼吸器の管理について	7/16	8/8

(4) 新人看護師対象

研修内容	開催日	参加者/対象者
輸液ポンプ・シリンジポンプ	4/25	74/74
経管栄養管理	6/6	73/73
心電図モニター	9/2	73/73

(5) 臨床工学技士

研修内容	開催日
院外研修（他） 血液浄化・循環器・医療機器関連学会での研修	9/29～

(6) 放射線部

研修内容	開催日	参加者
院内研修 直線加速器	5/21	12名
院内研修 直線加速器	7/17	15名
院内研修 RALS	6/18	12名
院内研修 RALS	8/11	11名

③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況

- 医療機器に係る計画の策定 (☒ 有 ・ 無)
- 機器ごとの保守点検の主な内容：
人工呼吸器、補助循環装置、血液浄化装置の一部を定期点検(外注)
除細動装置、血液浄化装置の一部、輸液ポンプ、シリンジポンプ、経腸栄養ポンプ、
低圧持続吸引器、間歇的空気圧迫装置を定期点検(院内)

④ 医療機器の安全使用のために必要となる未承認等の医療機器の使用の状況その他の情報の収集
その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況

- 医療機器に係る情報の収集の整備 (☒ 有 ・ 無)
PMDA、日本医療評価機構より情報収集・院内メールにて周知
- 未承認等の医療機器の具体的な使用事例（あれば）：
なし
- その他の改善のための方策の主な内容：
不定期に「MEだより」を発行

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第9条の20の2第1項第1号から第13号の二に掲げる事項の実施状況

① 医療安全管理責任者の配置状況	☒ 有・無
・責任者の資格（医師・歯科医師） ・医療安全管理責任者による医療安全管理部門、医療安全管理委員会、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者の統括状況 医療安全管理責任者に「安全・個人情報担当」の副病院長（医師）をもって充て、医療安全管理部門、医療の質・安全管理委員会、医薬品安全管理責任者、医療機器安全管理責任者及び医療放射線安全管理責任者を統括している。	
② 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	☒ 有（9名）・無
③ 医薬品安全管理責任者の業務実施状況 ・医薬品に関する情報の整理・周知に関する業務の状況 収集した医薬品情報を3分類（最重要、重要、その他）し、使用患者、処方医等を調査し医薬品安全性情報等を院内メール、院内通知書、DI Express で病院全職員へ周知すると共に、「最重要」、「重要」の項目については各病棟担当薬剤師が追加説明等を行う体制を構築している。周知確認は、重要度にあわせて署名者を指定（全職員又は関連職員）するなどし、薬剤部DIセンターで関連書類を管理している。昨年度は「重要」に該当した「メトグルコ錠 250mg」の発がん性物質検出に伴う自主回収（クラスⅠ）に対し、処方医師の周知確認の署名を回収した。 ・未承認等の医薬品の使用に係る必要な業務の実施状況 未承認等医薬品を使用する診療科は新規医療審査室の審査を受ける。医薬品の適応外・禁忌使用については、病棟薬剤業務及び薬剤部セントラル業務を通じて把握を行い、医師が「医薬品の適応外等使用に係る申請書」により新規医療審査室に申請する。申請書をもとにリスク分類（A、B、C）し、リスクAは未承認新規及び適応外等医薬品評価委員会での審査・事後検証・患者への文書説明と同意取得、リスクBは必要に応じて評価委員会での審査・事後検証を実施し、患者への文書説明と同意取得、リスクCは患者への口頭説明と同意取得（診療録に記録）を原則とすることとしている。また、医薬品の禁忌使用の把握については、薬剤部の調剤支援システム（禁忌チェックシステム）を利用している。 ・担当者の指名の有無（☒有・無） ・担当者の所属・職種： （所属：医療の質・安全管理部、職種：薬剤師）（所属：薬剤部DIセンター、職種：薬剤師）	
④ 医療を受ける者に対する説明に関する責任者の配置状況	☒ 有・無

- ・医療の担い手が説明を行う際の同席者、標準的な説明内容その他説明の実施に必要な方法に関する規程の作成の有無 (☒ 有 ・ 無)
- ・説明等の実施に必要な方法に関する規程に定められた事項の遵守状況の確認、及び指導の主な内容：
 侵襲性の高い診療行為（手術等）の点検を行い、診療録等に関する委員会にて報告し、是正を勧告している。また、多職種で参加する院内ケアプロセス調査においても、記載内容等について改善指導を行っている。

⑤ 診療録等の管理に関する責任者の選任状況	☒ 有 ・ 無
・診療録等の記載内容の確認、及び指導の主な内容： 1) 診療録等の量的・質的点検 診療情報管理士による診療録の点検を実施し、診療録センター運営委員会、Q I センター会議で報告するとともに、各診療科（診療科長・病棟医長・担当医）へ点検結果のフィードバックをしている。また、重要度の高い指摘項目がある診療科については、ヒアリングを実施するなどし、診療録記載の改善に努めている。 2) 多職種による診療録等監査 入院から退院までの一連のプロセスにおいて、患者へのアプローチや適切な記録の有無について多職種の視点で確認し、問題点等を指摘し改善することで、診療録等の適切な記載や医療の質向上へつなげる『院内ケアプロセス調査』を実施している。（1 診療科／月）	
⑥ 医療安全管理部門の設置状況	☒ 有 ・ 無
・所属職員：専従（5）名、専任（2）名、兼任（14）名 うち医師：専従（1）名、専任（1）名、兼任（5）名 うち薬剤師：専従（1）名、専任（0）名、兼任（1）名 うち看護師：専従（3）名、専任（0）名、兼任（4）名 うち診療放射線技師：専従（0）名、専任（0）名、兼任（1）名 うち臨床検査技師：専従（0）名、専任（0）名、兼任（1）名 うち事務：専従（0）名、専任（1）名、兼任（1）名 うち医療情報部職員：専従（0）名、専任（0）名、兼任（1）名 （注）報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること ・活動の主な内容： （1）医療の質・安全管理委員会の議事録作成及び庶務に関すること。 （2）医療の質・安全管理委員会から提案された業務の実施に関すること。	

- (3) 医療事故及びインシデント報告の分析並びに再発防止策の検討及び提言に関すること。
- (4) 医療事故防止策の実施状況の必要に応じた調査及び防止策の見直し・立案に関すること。
- (5) 院内死亡事例の検証に関すること。
- (6) 医療の安全管理に係る企画・立案及び広報並びに啓蒙・啓発に関すること。
- (7) リスクマネジャーとの連絡調整に関すること。
- (8) 医療の安全管理に係る教育・研修に関すること。
- (9) 他の委員会に対する勧告案の作成に関すること。
- (10) 事故等に関する診療録や看護記録等への記載が正確かつ十分になされていることの確認等に関すること。
- (11) 患者や家族への説明など事故発生時の対応状況についての確認等に関すること。
- (12) 事故等の原因究明が適切に実施されていることの確認等に関すること。
- (13) 医療の質・安全管理部会議に出席し、インシデントや医療事故防止に関して検討する。
- (14) その他医療安全対策の推進に関すること。

※ 平成二八年改正省令附則第四条第一項及び第二項の規定の適用を受ける場合には、専任の医療に係る安全管理を行う者が基準を満たしていることについて説明すること。

※ 医療安全管理委員会において定める医療安全に資する診療内容及び従事者の医療安全の認識についての平時からのモニタリングの具体例についても記載すること。

⑦ 高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の状況

- ・ 前年度の高難度新規医療技術を用いた医療の申請件数（ 5 件）、及び許可件数（ 5 件）
- ・ 高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の設置の有無（ ☒ 有 ・ 無 ）
- ・ 高難度新規医療技術を用いた医療を提供する場合に、従業者が遵守すべき事項及び高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門が確認すべき事項等を定めた規程の作成の有無（ ☒ 有 ・ 無 ）
- ・ 活動の主な内容：

申請内容の確認、及び当該医療技術の提供の適否、実施を認める条件等について意見を求め、その意見を踏まえ、当該医療技術の提供の適否等を決定し、申請を行った診療科長等に対してその結果を通知する。また、当該医療技術が適正な手続に基づいて提供されていたかどうかに関し、モニタリングし、その内容を病院長、医療の質・安全管理委員会等に対して報告する。

- ・ 規程に定められた事項の遵守状況の確認の有無（ ☒ 有 ・ 無 ）
- ・ 高難度新規医療技術評価委員会の設置の有無（ ☒ 有 ・ 無 ）

⑧ 未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の状況

- ・ 前年度の未承認新規医薬品等を用いた医療の申請件数（ 1 件）、及び許可件数（ 1 件）
- ・ 未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の設置の有無（ ☒ 有 ・ 無 ）
- ・ 未承認新規医薬品等を用いた医療を提供する場合に、従業者が遵守すべき事項及び未承認新規医薬品等の使用条件を定め使用の適否等を決定する部門が確認すべき事項等を定めた規程の作成の有

無 (☒ 有 ・ 無)

・ 活動の主な内容 :

申請内容の確認、及び当該未承認新規医薬品等の使用の適否、使用条件等について意見を求め、その意見を踏まえ、当該未承認新規医薬品等の使用の適否、使用条件等を決定し、申請を行った診療科長等に対してその結果を通知する。また、当該未承認新規医薬品等が適正な手続に基づいて提供されていたかどうかに関し、モニタリングし、その内容を病院長、医療の質・安全管理委員会等に対して報告する。

・ 規程に定められた事項の遵守状況の確認の有無 (☒ 有 ・ 無)

・ 未承認新規医薬品等評価委員会の設置の有無 (☒ 有 ・ 無)

⑨ 入院患者が死亡した場合などの医療安全管理部門への報告状況

・ 入院患者が死亡した場合の医療安全管理部門への報告状況 : 年 166 件

・ 上記に掲げる場合以外の場合であって、通常の経過では必要がない処置又は治療が必要になったものとして特定機能病院の管理者が定める水準以上の事象が発生したとき当該事象の発生の事実及び発生前の状況に関する医療安全管理部門への報告状況 : 年 115 件

・ 上記に関する医療安全管理委員会の活動の主な内容

毎月 1 回の定例会議において、医療安全管理部門から前々月分の院内死亡事例の検証結果についての報告を受けて、医療事故調査制度への報告の判断等について検討を行う。

⑩ 他の特定機能病院等の管理者と連携した相互立入り及び技術的助言の実施状況

・ 他の特定機能病院等への立入り (☒ 有 (病院名 : 九州大学病院) ・ 無)

・ 他の特定機能病院等からの立入り受入れ (☒ 有 (病院名 : 広島大学病院) ・ 無)

・ 技術的助言の実施状況

技術的助言は特になし (令和 2 年度は受入、立入ともに書面審査のみ)

⑪ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況

・ 体制の確保状況

院内に患者相談窓口を設置しており、患者相談対応マニュアルに順次、医療安全・医療事故に関して医療の質・安全管理部で対応している。また、患者相談窓口で受けた相談のうち、医療安全・医療事故に関する相談は医療の質・安全管理部に報告され、内容によっては、医療の質・安全管理委員会に報告し、対応する。緊急を要する場合は、即時病院長に報告する。
また、週に一度の患者サポート対応カンファレンスに参加し、情報を共有している。

--

⑫ 職員研修の実施状況

・ 研修の実施状況

研修日	対象者	研修内容	講師	参加人数
2020/4/1	新人看護師	「新採用者オリエンテーション：病院でのリスクマネジメント」	看護師 GRM	109 人
2020/6/19	新規（中途）採用医師	「医薬品に関わるルール」 「当院の医療安全体制とその実際」	学内講師	63 人 (e ラーニング、VTR 講習会、DVD 貸し出しを含む)
2020/6/19	全職員	「医療安全管理体制、医療安全推進のための目標、せん妄対策」 「2019 年度のインシデント報告より」 「医薬品に関わるインシデント事例から学ぶこと」 「外部監査結果および医療の質評価への取り組み」	医師 GRM 医師 GRM 薬剤師 GRM 看護師 GRM	1885 人 (e ラーニング、VTR 講習会、DVD 貸し出しを含む)
2020/10/1	研修医	みんなで創る医療安全	医師 GRM	9 人
2020/12/24	全職員	医療者のためのコミュニケーション入門 ～アンガーマネジメントと医療メディエーション～	学外講師	1887 人 (e ラーニング、VTR 講習会、DVD 貸し出しを含む)
2020/4/15	新採用者看護師	医療安全に関する研修Ⅰ 「リスクマネジメントマニュアルを知ろう」	看護師 GRM	82 人
2020/4/15	新採用看護師	服薬管理の看護基準	看護師 GRM	82 人
2020/4/21	新採用看護師	静脈注射知識編Ⅰ 「安全対策と事故防止」	看護師 GRM	80 人
2020/4/21	新採用看護師	静脈注射知識編Ⅰ 「静脈注射に用いる薬剤の基礎知識と管理」	医師 GRM	80 人
2020/6/10	2019 年度採用看護師と希望者	静脈注射知識編Ⅴ 「静脈注射にまつわるインシデント」	医師 GRM	92 人
2020/12/9 2020/12/25	新採用看護師	医療安全に関する研修Ⅱ 「リスク感性を高めよう：KYT」	看護師 GRM	72 人
2020/5/28	看護補助者	看護補助者研修 「医療安全」	看護師 GRM	68 人

(注) 前年度の実績を記載すること (⑥の医師等の所属職員の配置状況については提出年度の10月1日の員数を記入すること)

⑬ 管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者のための研修の実施状況

・研修の実施状況

日本医療機能評価機構が実施する「2020 年度特定機能病院管理者研修」に、管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者、医療機器安全管理責任者が参加し、医療に係る安全管理のための研修を受講した。

(注) 前年度の実績を記載すること

⑭ 医療機関内における事故の発生の防止に係る第三者による評価の受審状況、当該評価に基づき改善のために講ずべき措置の内容の公表状況、当該評価を踏まえ講じた措置の状況

・第三者による評価の受審状況

日本医療機能評価機構による病院機能評価 3rdG:Ver2.0 (一般病院 3) を受審し、「認定継続」の審査結果をいただいている。

なお、「医療事故等に適切に対応している」の項目についても「(A)」の評価をいただいている。

・評価に基づき改善のために講ずべき措置の内容の公表状況

改善内容なし

・評価を踏まえ講じた措置

同上

(注) 記載時点の状況を記載すること

規則第7条の2の2第1項各号に掲げる管理者の資質及び能力に関する基準

管理者に必要な資質及び能力に関する基準
- 基準の主な内容 山口大学医学部附属病院長選考基準において、「(1)臨床研修等修了医師である者、(2)病院の管理運営に必要な資質及び能力を有する者、(3)教育、研究及び診療に必要な資質及び能力を有する者、(4)医療の安全の確保のために必要な資質及び能力を有する者」として規定し、詳細は病院長選考基準に定めることとしている。 - 基準に係る内部規程の公表の有無（☒有・無） - 公表の方法：山口大学ホームページに掲載

規則第7条の3第1項各号に掲げる管理者の選任を行う委員会の設置及び運営状況

前年度における管理者の選考の実施の有無				☒ 有・無
- 選考を実施した場合、委員会の設置の有無（☒有・無） - 選考を実施した場合、委員名簿、委員の経歴及び選定理由の公表の有無（☒有・無） - 選考を実施した場合、管理者の選考結果、選考過程及び選考理由の公表の有無（☒有・無） - 公表の方法：山口大学ホームページに掲載				
管理者の選任を行う委員会の委員名簿及び選定理由				
氏名	所属	委員長 (○を付す)	選定理由	特別の関係
古賀 和利	山口大学理事	○	山口大学医学部附属病院長候補適任者選考会議規則 第3条(1)委員	☒ 有・無
篠田 晃	山口大学医学部長		山口大学医学部附属病院長候補適任者選考会議規則 第3条(2)委員	☒ 有・無
松山 豪泰	山口大学医学部附属病院副院長		山口大学医学部附属病院長候補適任者選考会議規則 第3条(4)委員	☒ 有・無
原田 美佐	山口大学医学部附属病院看護部長		山口大学医学部附属病院長候補適任者選考会議規則 第3条(5)委員	☒ 有・無
尼田 剛	前 株式会社山口銀行 山口支店長		山口県内の経済事情及び医療等の状況に精通し、経営及び医療について高い識見を有する。	有・ ☒ 無
柳屋 芳雄	株式会社ヤナギヤ代表取締役社長		宇部・小野田医療圏の地域事情及び経済事情に精通し、経営につい	有・ ☒ 無

			て高い識見を有する。	
矢野 忠生	医療法人矢野外科 医院 院長		宇部・小野田医療圏の医療等の状況に精通し、地域医療及び病院経営について高い識見を有する。	有・ ☒ 無

**規則第9条の23第1項及び第2項に掲げる病院の管理及び運営を行うための合議体の
設置及び運営状況**

合議体の設置の有無	☒ 有・無
-----------	---

・合議体の主要な審議内容

病院の予算及び経営に関する事項、規則の制定及び改廃に関する事項、その他病院の管理運営に関する事項

・審議の概要の従業者への周知状況

病棟医長等が出席する病院連絡協議会において周知している。また、会議資料、議事概要を学内ウェブページに掲載し、従業者が閲覧できる環境を設けている。

・合議体に係る内部規程の公表の有無（☒有・無）

・公表の方法：山口大学ホームページへ掲載

・外部有識者からの意見聴取の有無（有・☒無）

合議体の委員名簿

氏名	委員長 (○を付す)	職種	役職
篠田 晃		医師	医学部長
高見 太郎		医師	第一内科長
矢野 雅文		医師	第二内科長
神田 隆		医師	神経内科長
中川 伸		医師	精神科神経科長
長谷川 俊史		医師	小児科長
松永 和人		医師	呼吸器・感染症内科長
濱野 公一		医師	第一外科長
永野 浩昭		医師	第二外科長
坂井 孝司		医師	整形外科長
下村 裕		医師	皮膚科長
高須 啓之		医師	形成外科長
松山 豪泰		医師	泌尿器科長
木村 和博		医師	眼科長
山下 裕司		医師	耳鼻咽喉科長
伊東 克能		医師	放射線科長

田中 秀和		医師	放射線治療科長
杉野 法広	○	医師	病院長、産科婦人科長
松本 美志也		医師	麻酔科蘇生科長
石原 秀行		医師	脳神経外科長
三島 克章		歯科医師	歯科口腔外科長
山崎 隆弘		医師	検査部長
鶴田 良介		医師	先進救急医療センター長
黒川 典枝		医師	総合診療部長
石田 博		医師	医療情報部長
高崎 彰久		医師	医療の質・安全管理部長
北原 隆志		薬剤師	薬剤部長
星井 嘉信		医師	病理診断科長
伊藤 浩史		医師	遺伝・ゲノム診療部長
白澤 文吾		医師	医学教育学講座教授 (その他病院長が必要と認めた者)
原田 美佐		看護師	看護部長
川村 篤		事務職員	事務部長

規則第15条の4第1項第1号に掲げる管理者が有する権限に関する状況

管理者が有する病院の管理及び運営に必要な権限

- ・ 管理者が有する権限に係る内部規程の公表の有無（☒有・無）
- ・ 公表の方法：大学ウェブページに掲載
- ・ 規程の主な内容

病院長が有する人事に関する権限として、山口大学医学部附属病院規則において、診療科長、診療施設の部長等及び企画・管理部門の部長等に関する任命及び解任について規定している。病院長が有する予算執行権限として、国立大学法人山口大学財務会計規則及び国立大学法人山口大学予算単位及び予算責任者取扱要項において、各予算単位に予算責任者を置くこととし、医学部附属病院の予算責任者として医学部附属病院長を規定している。

- ・ 管理者をサポートする体制（副院長、院長補佐、企画スタッフ等）及び当該職員の役割

副病院長6名を配置し、総務、危機管理（医療安全・感染対策）、再開発整備事業、医療連携（患者支援）、広報、教育、研究、経営・企画、診療、人事・労務、個人情報管理及び患者サービスに関する事項を分掌している。病院の管理運営等に関し病院全体の立場に立ち企画、立案を行い、病院長に提言する者として病院長補佐3名を配置している。また、病院の経営改善対策に関する事項等、病院運営審議会から委託された事項を審議する代議員会として、病院長、副病院長、病院長補佐、薬剤部長、看護部長及び事務部長を構成員とする病院戦略会議を設置している。

- ・ 病院のマネジメントを担う人員についての人事・研修の状況

病院の執行部として、副病院長は病院運営審議会の委員のうちから病院長が指名し、病院運営審議会の議を経て、学長に推薦し任命され、病院長補佐は病院運営審議会において選出することにより管理運営に精通するよう適切な人事を行っている。
研修については、国立大学附属病院長会議等が主催する「医師の働き方改革緊急セミナー（2021.2.16）」、勤務環境改善を考えることを目的とした全国医学部長病院長会議等が主催する「トップマネジメント研修（2020.11.27）」に病院長が参加し、管理運営に関する研修を受けている。

規則第15条の4第1項第2号に掲げる医療の安全の確保に関する監査委員会に関する
状況

監査委員会の設置状況					☒ 有・無
・ 監査委員会の開催状況：年 2 回 ・ 活動の主な内容： （１）医療安全管理責任者、医療安全管理部門、医療安全管理委員会、医薬品安全管理責任者、医療機器安全管理責任者等の業務の状況について管理者等から報告を求め、又は必要に応じて自ら確認を実施する。 （２）必要に応じ、本院の開設者又は管理者に対し、医療に係る安全管理についての是正措置を講ずるよう意見を表明する。 （３）（１）、（２）に掲げる活動について、その結果を公表する。 ・ 監査委員会の業務実施結果の公表の有無（ ☒有・無 ） ・ 委員名簿の公表の有無（ ☒有・無 ） ・ 委員の選定理由の公表の有無（ ☒有・無 ） ・ 監査委員会に係る内部規程の公表の有無（ ☒有・無 ） ・ 公表の方法：大学ウェブページに委員名簿及び選定理由を掲載					
監査委員会の委員名簿及び選定理由（注）					
氏名	所属	委員長 （○を付す）	選定理由	利害関係	委員の要件 該当状況
河村 康明	山口県医師会	○	医療に係る安全管理に関する専門的知識を有するため	有・ ☒ 無	1. 医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者
大田 明登	大田明登法律事務所		法律に関する識見を有するため	有・ ☒ 無	1. 医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を

					有する者
玉田 英生	宇部興産株式会 社		医療を受ける者の 代表者	有・ ☒ 無	2. 医療を受け る者その他の医 療従事者以外の 者（1.に掲げる 者を除く。）

(注) 「委員の要件該当状況」の欄は、次の1～3のいずれかを記載すること。

1. 医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者
2. 医療を受ける者その他の医療従事者以外の者（1.に掲げる者を除く。）
3. その他

規則第15条の4第1項第3号イに掲げる管理者の業務の執行が法令に適合することを
確保するための体制の整備に係る措置

管理者の業務が法令に適合することを確保するための体制の整備状況

・体制の整備状況及び活動内容

国立大学法人山口大学内部監査室が、年度計画書に基づき定期監査を実施している。2020年度は保有個人情報等の管理状況、情報セキュリティ対策の実施状況等について監査を実施し、課題に対する提言を行うとともに、事務担当部門に対し対応状況のフォローアップを実施した。

- ・ 専門部署の設置の有無（ ☒ 有 ・ 無 ）
- ・ 内部規程の整備の有無（ ☒ 有 ・ 無 ）
- ・ 内部規程の公表の有無（ ☒ 有 ・ 無 ）
- ・ 公表の方法：山口大学ホームページに掲載

規則第 15 条の 4 第 1 項第 3 号ロに掲げる開設者による業務の監督に係る体制の整備に係る措置

開設者又は理事会等による病院の業務の監督に係る体制の状況			
・ 病院の管理運営状況を監督する会議体の体制及び運営状況 学長、理事、副学長、医学部附属病院長及び学外委員により構成する経営協議会において、法人の中期計画・中期目標、年度計画、予算、決算及び業務実績について審議している他、医学部附属病院の経営実績及び経営計画について審議している。 ・ 会議体の実施状況（ 年 6 回 （メール審議含む）） ・ 会議体への管理者の参画の有無および回数（ ☒ 有・無 ）（ 年 5 回 ） ・ 会議体に係る内部規程の公表の有無（ ☒ 有・無 ） ・ 公表の方法：山口大学ホームページに掲載			
病院の管理運営状況を監督する会議体の名称：国立大学法人山口大学経営協議会			
会議体の委員名簿			
氏名	所属	委員長 (○を付す)	利害関係
岡 正朗	山口大学長	○	☒ 有・無
谷澤 幸生	山口大学理事・副学長		☒ 有・無
田中 和広	山口大学理事・副学長		☒ 有・無
小坂 慎治	山口大学理事・副学長		☒ 有・無
松野 浩嗣	山口大学理事・副学長		☒ 有・無
上西 研	山口大学理事・副学長		☒ 有・無
七村 守	山口大学理事		☒ 有・無
根ヶ山 徹	山口大学副学長		☒ 有・無
進士 正人	山口大学副学長		☒ 有・無
杉野 法広	山口大学副学長・医学部附属病院長		☒ 有・無
鍋山 祥子	山口大学副学長		☒ 有・無
安達 秀樹	株式会社トクヤマ 取締役		☒ 有・無
今村 孝子	山口県医師会 副会長 山口県公安委員		☒ 有・無
岩田 幸雄	山口放送株式会社 代表取締役会長		☒ 有・無
梅本 裕英	株式会社北九州銀行 取締役監査等委員		☒ 有・無
鎌田 積	一般財団法人日本開発構想研究所 シニアアドバイザー		☒ 有・無
川上 康男	株式会社 長府製作所代表取締役会長		☒ 有・無
小松 一彦	山口県副知事		☒ 有・無
齋藤 宗房	山口トヨタ自動車株式会社 代表取締役社長		☒ 有・無

	テレビ山口株式会社 代表取締役社長		
桜井 博志	旭酒造株式会社 会長		有・無
下村 輝夫	福岡工業大学長		有・無
末永 久大	弁護士法人末永法律事務所 弁護士		有・無
竹下 道夫	宇部興産株式会社 顧問		有・無
原山 優子	東北大学名誉教授 国立研究開発法人理化学研究所理事		有・無

(注) 会議体の名称及び委員名簿は理事会等とは別に会議体を設置した場合に記載すること。

規則第15条の4第1項第4号に掲げる医療安全管理の適正な実施に疑義が生じた場合
等の情報提供を受け付ける窓口の状況

窓口の状況

- ・ 情報提供を受け付けるための窓口の設置の有無 (☒ 有 ・ 無)
- ・ 通報件数 (年 0 件)
- ・ 窓口を提供する情報の範囲、情報提供を行った個人を識別することができないようにするための方策その他窓口の設置に関する必要な定めの有無 (☒ 有 ・ 無)
- ・ 窓口及びその使用方法についての従業者への周知の有無 (☒ 有 ・ 無)
- ・ 周知の方法 : 職員ハンドブックに掲載

(様式第 7)

専門性の高い対応を行う上での取組みに関する書類（任意）

1 果たしている役割に関する情報発信

① 果たしている役割に関する情報発信の有無	☒ 有・無
・ 情報発信の方法、内容等の概要 ホームページ，HP，SNS，広報誌等の広報媒体を通して，情報を発信している。	

2 複数の診療科が連携して対応に当たる体制

① 複数の診療科が連携して対応に当たる体制の有無	☒ 有・無
・ 複数の診療科が連携して対応に当たる体制の概要 他科とのコンサルテーションを実施している。	